

【一般会計】

第1款 議会費 項1 議会費

目1 議会費 (予算説明書P48～P49)

1 議員報酬・期末手当・共済費 (議員21名分)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	130,492	130,492	130,492

2 政務調査費交付金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	2,520	2,520	2,520

議会会派の調査研究活動の充実を図るため、各会派に対し、所属議員1人当たり月額1万円を交付。

3 議員用パソコン購入事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	714	0	0

貸与しているパソコンが耐用年数を経過したことから、議員貸与用パソコンを更新する。

4 議会中継システム導入事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	1,494	0	0

開かれた議会の推進を図るため、議場や委員会室で行われる本会議や委員会などの中継及び録画の映像を配信する中継システムを導入する。

議会中継システム導入費

総事業費 14,170千円

うち 平成21年度予算 234千円

うち 債務負担行為分 13,936千円 (平成22年度～平成25年度)

保守管理委託料

総事業費 6,300千円

うち 平成21年度予算 1,260千円

うち 債務負担行為分 5,040千円 (平成22年度～平成25年度)

第2款 総務費 項1 総務管理費

目1 一般管理費 (予算説明書P50～P51)

1 自治体職員協力交流事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	2	2,586	2,692	2,692

海外の地方自治体などの職員を『協力交流研修員』として受け入れ、行政についてのノウハウの習得を図るとともに、市内で開催される国際交流事業に参加してもらい、

市民との交流を通して、地域の国際化を図る。

研修期間 平成21年6月下旬～11月下旬

研修内容 一般行政研修、観光行政研修、道内外視察等

2 国際交流推進事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	2	760	360	360

国際交流関係団体等と連携し、国際理解講座やサイパンからの中学生の受入・交流、サイパンへの親善訪問、デンマークからの研修生受入支援などを行い、国際交流を推進する。

国際理解講座、サイパン中学生の受入・交流、サイパンへの親善訪問
外国人研修生の受入（登別デンマーク協会）支援

3 中学生海外派遣事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	2	2,535	2,535	2,535

外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的に、中学2年生6名をデンマークに派遣しホームステイなどの体験を行う。

派遣先 デンマーク 派遣人数 中学2年生6名、引率者2名
派遣期間 平成21年8月中旬 約7日間
事業内容 市役所表敬訪問、学校訪問、ホームステイ等での交流

4 市バス運行業務委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	—	—	7,302	7,302	7,302

市が所有するバスについて運転業務を民間に委託し、業務の効率化を図る。

委託台数 市バス2台

委託内容 市が行う各種行事に係る参加者等の送迎、市バスの保守点検

※債務負担行為設定（平成18年度～平成22年度）

5 職員研修経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	—	—	4,419	4,457	4,457

職員に対して各種研修を実施する。平成21年度については、職場内研修の充実を図るほか、公務員倫理や、メンタルヘルス等に重点を置いて実施することとしている。

6 ふるさと納税関係経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	—	—	1,252	0	0

ふるさと納税制度の周知を図るパンフレットを作成するとともに、寄付者に対して地場産品等記念品を贈呈する。また、同制度による寄附金を基金に積み立てる。

ふるさとまちづくり記念品購入費

- ・記念品購入費 150千円
- ・パンフレット作成 102千円

ふるさとまちづくり応援基金積立金 1,000千円

7 旅券事務費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	236	241	241

旅券（パスポート）の申請の受付と交付を行う。

旅券申請件数 H19 733件、H20 765件予定

目2 財産管理費（予算説明書P50～P53）

1 本庁舎裏玄関自動ドア設置事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3 新規	3,885	0	0

高齢者、障がい者等をはじめ、すべての市民の利便性の向上を図るため、市役所本庁舎裏玄関を改修し、自動ドアを設置する。

2 公共施設水洗化事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	3	6,000	4,000	3,297

老人憩の家（芙蓉の家）及び登別児童館の水洗化を行う。

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
6,000	4,000	2,000

3 公用地等購入費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	99,332	34,700	34,700

日本工学院職員住宅敷地、新生交番敷地として使用している登別市土地開発公社所有地を取得する。

取得面積 3,343.59㎡

4 本庁舎非常用照明改修事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	— 新規	4,914	0	0

老朽化した市役所本庁舎の非常用照明電源装置を廃止し、バッテリー内蔵型の非常用照明器具に改修する。

目5 総務諸費（予算説明書P52～P53）

1 登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	1	210	210	210

姉妹都市の提携を契機に設立した協議会が実施する産業、経済、文化、スポーツ、福祉の交流事業の推進を支援する。

小学生絵画作品交流展示会（登別市及び白石市で開催）

登別・白石観光と物産展（刈田神社祭典時に開催）

白石農業祭への物産展参加(11月予定)
 その他少年スポーツ交流事業など

目 6 企画費 (予算説明書 P 5 2 ~ P 5 5)

1 市民憲章制定 40 周年記念事業補助金

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	2	新規	100	0	0

登別市民憲章推進協議会の設立 40 周年記念誌作成に係る経費の一部を補助する。

2 市民憲章推進協議会助成金

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	2		150	150	150

市民憲章の周知を図るとともに、より豊かな郷土づくりを目指し、『市民憲章だより』の発行など市民憲章推進に関する啓発活動を行う登別市民憲章推進協議会の活動を支援する。

市民憲章推進に関する啓発活動、若草中央公園花壇の管理

3 東京登別げんきかい交流経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	1		600	598	598

首都圏などに在住する登別市出身者やゆかりのある方などで構成される『東京登別げんきかい』の活動を支援する。

夏のイベント 平成21年7月(予定)

総会・情報交換会 平成21年11月(予定)

4 ふるさと大使関係経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	1		62	60	60

登別市にゆかりのある著名人などを『登別市ふるさと大使』(通称:鬼大使)に委嘱し、さまざまな機会に登別市を宣伝してもらうとともに、まちづくりに役立つ情報などを提供してもらう。

平成21年2月1日現在委嘱者数 52名

登別市の話題の宣伝、PRカードの配布、まちづくりに役立つ情報収集・提供

5 ペットボトルキャンドルナイト開催経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	2	新規	159	0	0

地球温暖化の防止や環境保全についての関心を高めるため、北海道洞爺湖サミットの開催を契機に行ったペットボトルキャンドルナイトをアフターサミットの取り組みとして実施する。

6 移住促進経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	3		100	100	100

首都圏等の団塊の世代を主な対象として、他自治体と連携・協力し、北海道への移

住促進・民間による移住ビジネスの創出などを目的とした「北海道移住促進協議会」へ引き続き参加する。

また、移住情報パンフレットを作成する。

7 事業仕分け実施経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	—	—	新規	198	0	0

平成12年度から試行を含め実施してきた事務事業評価について、事務事業の必要性の有無や行政と民間の役割分担などについて仕分ける「事業仕分け」を事務事業評価の外部評価として試行実施する。

8 市民自治推進委員会経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	1	新規	637	0	0

市民自治の推進役を担う市民自治推進委員会の活動を支援するため、市民自治推進委員会が行う市民を対象とした講演会等の開催を支援する。

目8 行政情報費 (予算説明書P54～P55)

1 北海道電子自治体共同システム運用経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	3		3,078	3,552	3,552

電子自治体の実現に向けて、北海道と道内市町村が共同で開発した共通基盤システム及び電子申請システムの運用を行う。

2 西いぶり広域連合共同電算事業負担金

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	3		149,274	88,282	88,282

西胆振の市町がそれぞれで構築・運用を行ってきた電算システムについて、共通のシステムを利用することで情報処理経費の削減を図り、アウトソーシングすることにより専門知識を有する職員を確保することなくシステムの運用を可能とする共同電算システムを西いぶり広域連合共同電算参加市町と共同で運用する。

共同電算参加市町：室蘭市、登別市、伊達市、壮瞥町

3 地域情報化の推進

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	3		51,547	59,757	61,406

OA化推進経費 18,009千円

事務処理の効率化、住民の視点に立った行政サービスの質的向上、情報ニーズへの的確な対応を図る。

Webサーバ、庁内LAN、LGWANの維持管理

地域イントラネット維持管理経費 26,801千円

公共施設を結ぶイントラネット(光ファイバーネットワーク)機材などの維持管理を行う。

イントラネット機器更新経費 298千円

総事業費 18,064千円

うち 平成21年度予算 298千円
 うち 債務負担行為分 17,766千円（平成22年度～平成25年度）
 地域情報センター運営管理経費 6,737千円
 登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域情報センターの運営管理を行う。

4 広報広聴経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	3	13,572	14,324	11,324

市民や地域の声・ニーズを的確にとらえ、市政に反映させるよう努めるとともに、市政情報を総合的に提供することにより、市民参加のまちづくりを推進する。

- ・ 広報紙の発行
 「広報のぼりべつ」 毎月発行
 市民リポーター 6名程度
 広報モニター 12名
- ・ 各種懇談会の開催
 市政（地区）懇談会、地区課題（要望）の把握、市長室フリータイム、市職員出前フリートーク等
- ・ 市民見学会の開催
 市民見学会、三市合同施設見学会

5 旬感！のぼりべつかわらばん（明日のまちづくり事業費）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	3 新規	1,350	0	0

市の情報発信の拡充を図るため、市ホームページの更新やコミュニティFM放送番組の購入を行い、イベント情報や災害時の緊急情報などを提供する。

目10 環境保全推進費（予算説明書P54～P55）

1 総合的な環境保全の推進経費・環境保全審議会経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	1	443	387	387

市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担と責任のもと、自主的、積極的な環境保全への取り組みを総合的・計画的に行う。

- ① 総合的な環境保全の推進経費 205千円
 - ・ 環境基本計画の進行管理
 - ・ 環境配慮指針、温暖化対策推進実行計画
 - ・ グリーン購入法に基づく調達方針の進行管理
 - ・ 小中学生による環境ポスター募集事業
- ② 環境保全審議会の運営（委員20名） 238千円

2 歩いてみませんか「わが家の散歩道」（明日のまちづくり事業費）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1 新規	900	0	0

日常活用する散歩道の魅力ある景観等を写真、説明文で紹介し、登別が持つ身近な魅力の発掘と市民の健康維持活動の一助とする。

目 1 1 男女共同参画推進費 (予算説明書 P 5 6 ~ P 5 7)

1 男女共同参画社会づくりの推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	4	1	60	60	60

女性と男性がお互いの人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を発揮しながら、共に支え合う男女共同参画社会の形成を目指す。

情報誌・小学校4年生向け啓発冊子の発行

のぼりべつ男女平等参画懇話会、プラタナスなどの市民団体の活動支援

2 民間シェルター運営補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	4	1	150	150	150

夫や交際していた男性などの暴力から逃れる女性の心身の安全確保や自立のための支援を行っている民間シェルター（NPO法人『ウィメンズネット・マサカーネ』）の運営を支援する。

目 1 2 幼稚園振興費 (予算説明書 P 5 6 ~ P 5 7)

1 私立幼稚園学校給食指導経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	765	638	638

私立幼稚園の5歳児を対象として、10日間程度を目途に学校給食の指導を実施する。

2 私立幼稚園就園奨励費補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	57,494	48,726	49,096

私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付する。

補助対象人員 610名

3 私立幼稚園協会教職員研修費補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	500	500	500

私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため補助を行う。

4 私立幼稚園教材教具費等補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	2,520	2,436	2,436

市内の私立幼稚園に対し、教材教具の購入資金の一部を補助し、教育内容の充実を図る。

第3款 民生費 項1 社会福祉費

目1 社会福祉総務費 (予算説明書P72～P75)

1 日胆はまなす里親会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	30	30	30

里親会を支援し、児童福祉の向上に寄与する。

2 地域福祉活動促進事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	1	14,840	14,674	14,674

在宅福祉の向上など地域福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会に対し補助する。

地域福祉事業、ボランティアセンター事業、在宅福祉事業など

3 社会福祉事業推進補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	1	10,619	10,761	10,761

福祉ニーズに応え、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」に取り組むため、職員を効果的に配置し、事業の拡大・充実を図り、又、民間福祉活動の育成及び充実・発展のため、福祉活動専門員を設置し、活動体制の強化を図るため、社会福祉協議会に対し補助する。

4 民生委員児童委員活動経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	1	11,864	11,864	11,864

市内各地区の民生委員児童委員の活動を推進する。

- ① 民生委員児童委員協議会補助金 2,847千円
- ② 民生委員推薦会経費(委員12名分) 210千円
- ③ 民生委員児童委員協議会経費 1,241千円
- ④ 民生委員児童委員活動経費(委員130名) 7,566千円

5 社会福祉協議会貸付金(たすけあい金庫)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	4	5,000	5,000	5,000

低所得者世帯に対する応急援護資金等の貸付のため、社会福祉協議会に対し原資を貸付けする。

6 社会福祉協議会創立50周年記念事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	4	1,000	0	0

社会福祉協議会が創立50周年を記念して実施する事業に対して補助金を交付する。

7 室蘭登別防犯協会連合会助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	5	650	650	650

犯罪の未然防止と暴力を追放し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて活動する室蘭登別防犯協会連合会を支援する。

各種広報・啓発活動実施、啓発看板・ポスターの作成、地域安全ニュースの発行

8 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	5	500	500	500

市内から暴力団を追放・排除し、安全で安心して暮らせる明るいまちづくりの実現に向けて活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会を支援する。

各種広報・啓発活動実施、啓発看板・旗・チラシの作成、手づくり祭りの支援

9 防犯灯設置事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	5	4,900	5,000	4,100

町内会などが地域の安全を確保するために整備する防犯灯の設置費や改修費に対し補助する。(補助率 3分の2以内)

10 社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	5	180	180	180

社会を明るくする運動登別地区実施委員会が行う街頭啓発、公開ケース研究会など犯罪防止啓発事業を支援する。

青少年の非行防止と更生保護の啓蒙のための街頭パレード

青少年の非行防止のための地域懇談会及び公開ケース研究会

映画、ポスター、リーフレット、広報等による啓発活動 等

11 登別地区保護司会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	5	250	250	250

犯罪のない明るい社会を実現するため、青少年の補導活動や保護司活動充実のための研修会等を行っている登別地区保護司会に対して補助金を交付する。

12 無料法律相談業務委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	6	378	378	378

交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所で弁護士による相談を行う。

会場での無料法律相談を開催(月1回、6名)

弁護士事務所での無料法律相談(月6名)

13 生活交通路線維持対策事業費補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	6,730	5,936	5,593

市民の生活に必要なバス路線の維持が、自家用車の普及により困難となっていることから、国及び北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して補助金を交付し、バス路線を維持する。

補助路線数 9 路線

準生活交通路線 1 路線（負担割合道 1/3・市 2/3）

市生活交通路線 8 路線（市単独補助）

14 鉦山地域住民タクシー経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	130	130	130

鉦山地域住民の交通の便を確保するため、タクシー料金の一部について助成する。

利用世帯数 1 世帯（月 2 往復）

15 アイヌ文化講座経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	296	296	296

アイヌ文化の普及と地域住民との交流を図るため、文化講座を開催する。

活動内容 アイヌ刺繍教室、トマ織教室

16 第22回アイヌ民族文化祭補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	30	30	30

アイヌ民族文化の保存伝承を目的に開催されるアイヌ民族文化祭を支援する。

開催期日 平成21年11月

開催場所 幕別町

内 容 古式舞踊、アイヌ語劇、民族資料展示等

17 アイヌ文化普及啓発事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	200	200	200

アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う北海道ウタリ協会登別支部に対し補助を行う。

事業内容 アイヌ語教室の開催、イチャルパへの参加、アイヌ民族文化祭への参加
講演会、刺繍教室の開催、ウタリ協会ホームページ作成等

18 連合町内会助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	2	2,400	2,400	2,400

登別市連合町内会（11地区の連合町内会で構成）の活動を支援する。

町内会共催事業の推進 各種研修会の開催及び参加促進 連合町内会運営経費

19 町内会運営助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	2	29,557	28,600	27,950

地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会の運営を支援する。

助成団体数 95町内会、1地区連合町内会

目2 障害者福祉費 (予算説明書P74～P77)

1 重度心身障害児介護手当支給経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	8,160	8,040	8,040

心身に重度の障がいのある児童の保護者に対して支給し、障がい児の福祉の増進を図る。

対象者数 68名

2 地域生活支援事業費

障害者自立支援法に定められた障がい者(児)の地域生活支援に係る事業を実施する。

○ 日常生活用具給付費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	12,927	14,616	12,116

障がい者(児)に対し、日常生活用具の給付を行う。

給付見込件数 1,377件

○ 障害者自立更生促進助成事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	410	510	510

在宅の障がい者に対し、自立更生に要する経済的負担を軽減し、社会活動への参加の促進を図る。

自動車運転免許取得費助成 2件 自動車改造費助成 2件

○ 総合相談支援事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	15,265	15,333	17,033

障がい者等の相談に応じて必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用に関する援助、調整などの支援を行うとともに、地域関係機関のネットワーク化促進、知的・精神障がい者の住宅入居促進支援を行い、障がい者等の地域生活の支援を行う。

○ コミュニケーション支援事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	349	648	648

聴覚、音声言語機能障害のために意思疎通を図ることに支障のある障がい者等に、手話通訳者の派遣等を行う。

派遣見込回数 48回

○ 移動支援事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	2,000	1,924	1,924

屋外での移動が困難な障がい者（児）について、外出のための個別的支援及びグループへの支援を行う。

個別移動支援見込人員 30名
グループ移動支援団体数 3団体

○ 地域活動支援センター事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	20,436	20,436	20,436

障がい者等に、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進などの事業実施と当該事業者への助成を行う。

地域活動支援センター（社会福祉協議会委託）利用見込数 53名
革工房瑞樹就労者数 5名

○ 訪問入浴サービス事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	581	581	581

身体障がい者（児）の居宅生活支援のため、訪問による入浴サービスを行う。
利用見込人員 1名

○ 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	438	438	438

旧法における施設入所（通所）の利用者が必要な更生訓練費の支給及び施設入所していた障がい者が退所し、一般就労等を行う場合の就職支度金の支給を行う。

更生訓練費給付 15名 就職支度金給付 2名

○ 社会参加事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	198	1,248	1,248

視力障がい者等の情報提供のため、市広報誌等を点訳又は音声等により作成を行う。

○ 日中一時支援事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	2,000	2,926	2,926

障がい者等の日中における活動の場の確保、介護者の一時的休息を行うための日帰りショートステイ、介護者等の就労支援及び養護学校等の長期休暇中の支援を行うための障害児タイムケアを行う。

日帰りショートステイ利用見込数 12名 障害児タイムケア利用見込数 3名

○ 社会参加等事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	559	559	559

障がい者等の社会参加を促進するため、手話通訳者及び要約筆記者の養成、スポーツ・レクリエーション指導員の養成に係る経費の助成を行うとともに、障がい者等の団体のボランティア活動の支援を行う。

- スポーツ・レクリエーション指導員養成助成 2名
- 手話通訳者養成助成 1名
- 要約筆記通訳者養成 2名
- 障がい者団体ボランティア活動支援 登別回復者クラブ「ひまわりサークル」
(会員数18名(平成20年4月末)) 活動支援

3 介護給付費・訓練等給付費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	518,282	520,658	500,658

障害者自立支援法による障がい福祉サービス等に係る介護給付費・訓練等給付費等を支給する。

- 国保連支払審査手数料 1,126千円
- 訪問系サービス 71名分 21,173千円
 - ・居宅介護 62名
 - ・短期入所(ショートステイ) 8名
 - ・重度訪問看護 1名
- 日中活動系サービス 178名分 167,291千円
 - ・生活介護 36名
 - ・自立訓練(機能訓練) 5名
 - ・就労継続支援(A型) 9名
 - ・旧体系身体通所更生 4名
 - ・旧体系知的通所授産 25名
 - ・児童デイサービス 40名
 - ・就労移行支援 17名
 - ・就労継続支援(B型) 38名
 - ・旧体系知的通所更生 4名
- 居宅系サービス 189名分 328,692千円
 - ・共同生活介護(ケアホーム) 37名
 - ・施設入所 6名
 - ・旧体系身体入所療護 13名
 - ・旧体系知的入所更生 56名
 - ・知的通所療養 4名
 - ・共同生活援助(グループホーム) 45名
 - ・旧体系身体入所更生 12名
 - ・旧体系身体入所授産 4名
 - ・旧体系知的入所授産 12名

4 障害者補装具給付費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	25,565	27,105	27,105

障害者自立支援法による補装具給付等に係る費用を支給する。

- 給付見込件数(障がい者) 延 200件
- 給付見込件数(障がい児) 延 70件

5 自立支援医療費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	48,022	49,890	49,890

障害者自立支援法による自立支援医療(更生医療)に係る医療費を支給する。

- 身体障がい者の更生医療に係る給付費見込数 実131名

6 高額障害者福祉サービス経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	250	500	500

障害者自立支援サービスに伴う利用者負担が世帯上限額を超えた場合に、利用者の負担を軽減するため、その超えた分を支給する。

7 特別障害者手当等支給経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	29,447	30,892	30,892

重度の障がいにより、日常生活において常時介護を必要とする障がい者（児）に手当を支給し、障がいにより必要とされる負担の軽減を図る。

特別障害者手当 58名 障害児福祉手当 53名 経過的福祉手当 11名

8 障害認定審査会経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	3,507	3,705	3,705

障がい者の介護給付サービスにあたり、障害程度区分認定のため審査を行う。

委員数 10名 年間開催回数 26回

主治医意見書作成件数 100件

9 小規模通所授産施設（すずかけ作業所）運営経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	518	562	562

通所により指導員の指導のもと作業及び生活の訓練を行う。

通所者 7名（平成21年1月末現在）

10 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	197	225	225

精神障がい者の自立と社会復帰を支援するため、通所授産施設や地域共同作業所への通所に要した交通費の一部を助成する。

11 成年後見制度利用支援事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	444	0	0

判断能力が不十分な障がい者のうち、親族等による裁判所への申し立てが困難な方の権利擁護を図るため、親族等に代わって裁判所への申し立てを行うほか、成年後見人への報酬相当額を給付する。

12 肢体不自由児（者）父母の会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	200	200	200

肢体不自由児（者）の療育と福祉の増進を図るため、療育相談や講演会等を行っている、肢体不自由児（者）父母の会に補助金を交付する。

13 重度障害者（児）福祉タクシー関係経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	6,354	6,851	6,851

在宅で生活する重度障がい者の生活圏拡大と経済的負担の軽減を図るため、重度障害者を対象に福祉タクシー利用券を交付し、1人月3回（年間36回）を限度に基本料金相当分を助成する。

支給見込 810名分

14 身体障害者自動車燃料費助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	566	488	488

身体障がい者の自立更生と社会参加を図るため、身体障害者福祉法に基づき車椅子を受給している障がい者等で、免税購入資格者として自動車を購入した方を対象に、月30リットル分を限度に自動車燃料費を助成する。

対象者数 30名

15 身体障害者福祉協会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	460	460	460

身体障がい者の自立更生と福祉の増進を図るため、福祉啓蒙事業や社会研修事業等を行っている、身体障害者福祉協会に対して補助金を交付する。

16 視力障害者協会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	50	50	50

視力障がい者の自立更生と福祉の増進を図るため、社会研修事業や学習会等を行っている、視力障害者協会に対して補助金を交付する。

17 手をつなぐ育成会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	100	100	100

知的障がい児の自立更生と福祉の増進を図るため、特殊教育の振興や社会研修事業等を行っている、手をつなぐ育成会に対して補助金を交付する。

目3 医療助成費（予算説明書P76～P77）

1 ひとり親家庭等医療費助成経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	33,889	31,119	31,119

ひとり親家庭等の母子又は父子に係る保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成する。

	平成21年度 当初予算	平成20年度 当初予算	平成19年度 決算
受診件数	9,955件	10,763件	9,752件
月平均受給者数	1,772人	1,720人	1,654人
医療助成費	30,623千円	27,872千円	25,861千円
1人当り医療助成費	17,281円	16,204円	15,635円

2 乳幼児等医療費助成経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	71,103	83,875	71,128

乳幼児等に係る健康増進や健やかな育成を図るため、医療費の一部を助成する。

	平成21年度 当初予算	平成20年度 当初予算	平成19年度 決算
受診件数	38,520件	39,272件	37,719件
月平均受給者数	3,647人	2,800人	2,350人
医療助成費	62,277千円	74,975千円	70,548千円
1人当り医療助成費	17,076円	26,776円	30,020円

3 重度心身障害者医療費助成経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	154,111	157,933	158,703

重度心身障がい者に係る保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成する。

	平成21年度 当初予算	平成20年度 当初予算	平成19年度 決算
受診件数	21,555件	22,425件	21,881件
月平均受給者数	1,253人	1,300人	1,298人
医療助成費	147,538千円	151,248千円	139,585千円
1人当り医療助成費	117,747円	116,344円	107,538円

目7 消費生活費 (予算説明書P78～P79)

1 消費者行政推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	4	283	288	288

市民の消費生活の安定を図るため、広報への折込等により消費生活への意識啓発を行うほか、消費生活相談、物価調査、商品試買量目調査を登別消費者協会への委託により実施する。

2 消費生活展開催補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	4	300	300	300

より良い消費生活の普及と消費者の知識向上を図るため消費生活展を主催する登別消費者協会に助成する。

3 消費生活モニター関係経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	4	208	208	208

市が委嘱する消費生活モニターが、生鮮食料品や日用雑貨などの35品目について、月1回、価格変動や商品陳列の状況（商品供給状況）、産地表示の状況などを調査する。

モニター 8名以内

4 消費者協会運営助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	4	185	185	185

物価の調査や監視、消費生活相談など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会を支援する。

フリーマーケット・不用品ダイヤル市の開催

第3款 民生費 項2 高齢者福祉費

目1 高齢者福祉総務費（予算説明書P80～P81）

1 老人クラブ連合会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	1,000	1,000	1,000

高齢者福祉活動の中心的な役割を果たす老人クラブ連合会が行う事業を支援する。

主な活動内容 親睦会、スポーツ振興、女性部研修会、交通安全研修会、ボランティア活動

2 老人クラブ補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	2,660	2,740	2,740

老人クラブを通じ、老後の生活を健全で豊かな生きがいのあるものとするとともに、老人福祉の増進を図るため、単位老人クラブに補助する。

平成21年度見込数 45団体 2,900名分

3 敬老会補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	8,128	8,162	7,741

地域に貢献してきた高齢者を祝福するとともに、市民の敬老意識の高揚を図るため、町内会等が行う敬老行事に対し、出席者1人につき1,000円を補助する。

平成21年度見込数 8,128名

4 老人趣味の作業所運営等経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	276	315	315

高齢者の創造性を高め、老後の生きがいを豊かなものとするため、高齢者が陶芸などの趣味活動を行う場として老人趣味の作業所を運営する。

5 老人憩の家整備委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	8,000	8,000	8,000

老人憩の家を適切に維持管理するため、指定管理者である町内会等に委託して、老朽化した施設の補修を行う。

6 特別養護老人ホーム増築事業資金借入元利補給金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	22,353	22,767	22,767

特別養護老人ホーム増築（デイサービスセンター併設）に係る借入に対する元利補給金

交付先 社会福祉法人 登別千寿会 期間 平成10年度～平成29年度

7 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2 新規	59,000	0	0

療養病床の再編に伴い、介護療養病床から介護療養型老人保健施設に転換する医療法人三樹園会登別中央病院に対して、施設整備に要する費用の一部を補助する。

目2 高齢者保健福祉費（予算説明書P80～P81）

1 外国人高齢者・障害者福祉給付金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	360	360	360

在日外国人高齢者・障がい者で無年金者に福祉給付金を支給する。

支給予定者数 3名

2 在宅高齢者保健福祉支援経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	10,414	10,552	9,729

在宅高齢者の保健福祉向上のため、支援を行う。

- ・高齢者等緊急通報機器設置
- ・電話・移送サービス

3 社会福祉法人利用者負担軽減助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	188	119	119

介護保険サービスの利用促進を図るため、社会福祉法人が行う介護保険サービスの利用者負担の軽減に対して、その軽減した額の一部を補助する。

利用者負担軽減対象者：低所得者で特に生計が困難である者

目3 医療助成費 (予算説明書P80～P81)

1 老人医療費助成経費 (道老分)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	681	4,274	4,274

老人医療費助成事業は平成20年3月をもって終了したが、医療費については事業終了後も一定期間の遡及請求が認められているため、遡及請求された平成20年3月診療分までの医療費に対し助成を行う。

目4 後期高齢者医療費 (予算説明書P80～P83)

1 後期高齢者健康診査経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	5,793	2,674	2,674

実施義務者である北海道後期高齢者医療広域連合から委託を受け、75歳以上の後期高齢者に係る健康診査を行う。

受診見込数 1,000件

2 後期高齢者保健事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	2	2,947	0	0

新規

75歳以上の後期高齢者を対象に、短期人間ドック、脳ドックの受診、水中運動教室への参加に要した費用の一部を助成する。

3 後期高齢者医療療養給付費負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	565,665	524,000	513,204

後期高齢者医療制度に係る当市被保険者分療養給付費を、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合に対して負担金として支出する。

第3款 民生費 項3 児童福祉費

目1 児童福祉総務費 (予算説明書P84～P85)

1 子育て支援センター運営経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	604	962	1,062

育児に不安などを感じている保護者に、育児相談や子育て講座を開催し、保護者の不安解消を図るとともに、子育て週間の啓発、子育て情報誌の発行、移動子育て広場を開催するなど、子育て家庭を支援する。

主な事業

子育て講座・センター開放事業の充実

育児サークルの育成・支援

地域巡回子育て広場の開催

父親開放日「おとうさんと遊ぼう」の開催 等

2 登別子育て支援センター運営管理委託料

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	新規	7,873	0	0

登別保育所内に設置されている登別子育て支援センターの運営管理について、同保育所と一体的な運営を行うため、同保育所の受託法人に委託する。

委託期間：平成21年度～平成26年度

3 仕事と家庭両立支援（ファミリーサポートセンター）事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		7,010	7,014	7,014

保護者の仕事と子育ての両立できる環境をつくるため、ファミリーサポートセンターを開設している。

平成19年度末

依頼会員382名、提供会員124名、両方会員93名 合計599名

活動状況2,674件／4,943時間／預かり人数411名

4 産後子育てママ派遣事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		244	234	234

産後間もない母親の家庭で、育児・家事等を支援する家族がいない世帯に対してヘルパーを派遣し、安心して日常生活が営めることができるよう支援する。

5 家庭児童相談室・母子自立支援員経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		38	47	47

母子家庭の親や寡婦の自立と児童福祉の向上を図るため、母子自立・家庭相談員を配置する。

母子自立支援員・家庭相談員 1名配置

6 児童入所施設措置費（助産施設分）

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		380	350	350

母子福祉の向上を図るため、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を助産施設に入院させる。

7 こどもショートステイ経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		384	384	384

児童の養育が疾病等により一時的に困難になった家庭の児童を児童養護施設で養育する。

8 災害遺児手当支給経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		720	600	840

父母などが、交通事故などで死亡もしくは重度の障がいの状態となったとき、その児童を養育する保護者を支援する。

平成21年度支給見込者数 6名

9 次世代育成支援行動計画策定経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	—	新規	200	0	0

次代を担う子どもを育成する家庭への支援策をまとめた次世代育成支援行動計画について、現計画が平成21年度をもって終了することを受け、次期計画（H22～H26）を策定する。

10 母子家庭自立支援給付事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	4		1,361	1,836	1,836

- 自立支援教育訓練給付金 100千円
母子家庭の母親の職業能力開発を促進するため、「指定講座」を受講し職業能力開発を行う者に対して教育訓練後、自立支援教育訓練奨励金を支給し、母子家庭の自立促進を図る。
- 高等技能訓練促進給付金 1,261千円
専門的な資格の取得を容易にするため、母子家庭の母親が2年以上の養成機関で修業する場合に、一定期間、訓練促進費を支給し、生活費の負担を軽減する。

目2 保育所費（予算説明書P84～P87）

1 特別保育科目実施経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		885	1,238	1,238

- ① あそびの広場 253千円
地域の乳幼児を持つ保護者等を対象に子どもとの関わりや遊び方を指導し、育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深める。
開催回数 中央子育て支援センター8コース（1コース5回）
実施内容 親と子のあそび、手あそび、運動あそび、砂あそび、シャボン玉あそび等
- ② 交流事業 632千円
保育所入所児童が、人々との交流を学ぶため、高齢者や異年齢児との交流を行う。
実施保育所 富士・鷲別・栄町保育所（高齢者及び小学校との交流）
幌別東保育所（異年齢及び高齢者との交流）
主な事業内容 ミニ運動会、伝承あそび、ゲーム大会、老人福祉施設訪問等

2 保育所広域入所委託料

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1		1,668	2,660	1,564

勤務地の関係から、他市町村の保育所へ入所を希望する保護者の利便性を図るため、他市町村の保育所で児童の保育を行う。

平成21年度委託児童数（見込） 2名

3 普通保育所運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	62,694	60,895	59,789

共働きや病人の介護などにより家庭における児童の保育が困難な世帯に、安心して子どもを生み育てることのできる環境と、充実した保育サービスを提供する。

平成21年2月1日現在入所児童数 427名（登別保育所を除く）

富士保育所 115名 鷲別保育所 112名

栄町保育所 111名 幌別東保育所 89名

4 登別保育所運営管理業務委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	72,201	72,712	63,532

登別地区幼保一元化事業を推進するため、登別保育所の運営を「学校法人登別立正学園」に委託する。

○ 一時保育委託料 2,700千円

保護者が、疾病や事故、災害などで一時的に家庭での保育ができないときに、児童を登別保育所で保育する。

5 障害児保育実施経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	165	226	226

心身に障がいのある児童や発達発育に心配のある児童を受け入れ、児童の健全な成長発達を促すため全保育所で実施する。

平成20年度実績 7名

6 延長保育実施経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	616	620	620

保護者の勤務地や勤務時間などの都合による保育時間の延長ニーズに対応するため、全保育所で延長保育を実施する。

7 休日保育実施経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	229	292	292

保育所に入所している児童の保護者が、日曜日・祝祭日の勤務により家庭での保育が困難となったときに、その児童を富士保育所で保育する。

目3 のぞみ園費（予算説明書P86～P87）

1 のぞみ園運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	3	1,419	2,465	2,465

障害者自立支援法に基づく児童デイサービスセンター事業、並びに発達障がい児に関する相談、助言等を行う子ども発達支援センター事業を実施するのぞみ園の運営管理に要する経費

(のぞみ園実施事業)

- ・ 児童デイサービスセンター事業
利用見込み数 40名
- ・ 子ども発達支援センター事業

目4 児童館費 (予算説明書P86～P87)

1 児童館・児童センター運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	8,772	9,669	9,771

安心して子どもを生み、健やかに育つ環境をつくり、地域で担う子育てを支援するため、児童館などに児童厚生員を配置し、遊びを通して児童の健全育成を図る。

平成19年度利用者 延べ 62,420名

目5 放課後児童育成費 (予算説明書P86～P89)

1 放課後児童クラブ運営経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	3,680	3,810	3,863

放課後児童クラブは、就労などにより昼間保護者のいない児童が、放課後や夏・冬・春休みの期間中、安心して過ごせる場所として放課後児童クラブを設置し、児童の健全育成を図る。

富岸青少年会館内・常盤児童館内・若草小学校内・老人憩の家(桜木の家)内・幌別西小学校内・鷺別小学校内

定員 概ね30名

開館時間 授業のある日 放課後から18時まで

授業のない日 9時から18時まで

閉館日 日曜日、祝日、年末年始

第3款 民生費 項5 交通安全費

目1 交通安全総務費 (予算説明書P92～P93)

1 交通安全推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	3	1,832	1,825	1,825

幼稚園や学校、老人クラブなどで交通安全教室を行うとともに、交通安全啓発運動を通じて市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努める。

交通安全啓発運動の推進

交通安全教育の推進

交通安全啓発看板、旗等の設置及び維持管理等

交通安全指導委員報酬(50名) 275千円

2 交通安全協会交付金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	3	4,300	4,300	4,300

交通安全思想の普及や高揚を図るため、指導教育活動や広報活動などの活動を行う交通安全協会を支援する。

交通安全市民運動の推進、交通安全教育広報活動の推進
 主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導
 高齢者に対する交通安全思想の普及

3 交通傷害保険料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	3	2,400	2,400	2,400

少額な保険料で、交通事故により傷害を受けた市民を救済するための保障制度。
 交通安全意識の高揚、市民交通傷害保険の加入促進

目2 交通安全施設費 (予算説明書P92～P93)

1 カーブミラー設置費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	3	800	800	800

見通しの悪い交差点等にカーブミラーを設置し、交通事故の防止を図る。
 設置箇所数 3～4箇所

2 照明灯設置事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	3	500	500	500

交差点などの交通安全対策のため、幹線道路や通学路などに照明灯を設置する。
 テーパーポールタイプ照明灯 (110W) 1基

第3款 民生費 項6 災害救助費

目1 災害救助費 (予算説明書P94～P95)

1 災害見舞金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	4	510	510	510

災害で被害を受けた市民に対し、災害見舞金を支給する。

第4款 衛生費 項1 保健衛生費

目1 保健衛生総務費 (予算説明書P96～P97)

1 家族DE食育 健康のぼりべつ (明日のまちづくり事業費)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	1	1,840	0	0

新規

子育て世代を対象に食生活の改善を図り、明日を担う子ども達の健全な成長を促すことを目的に、食育フェスタの開催や普及啓蒙事業を実施する。

2 北海道難病連運営事業助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	1	54	54	54

難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の社会的自立活動を促進し、福祉の増進を図ることを目的に活動している財団法人北海道難病連に対し補助する。

3 母と子の健康づくり事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	2	31,787	14,796	14,796

- 母子栄養管理 19千円
8か月児などを対象に育児相談、栄養相談を行う。
(対象) 生後8か月児 予定者数 380名
- 妊婦健康診査 27,890千円
妊娠期の健康診査費用の助成と健康管理のための保健指導を行う。
妊婦一般健康診査(超音波検査含む) 14回 予定者数385名
※平成21年度から、妊婦一般健康診査について検査回数を14回に拡大し(平成20年度:5回)、道外での受診者についても助成を受けられるよう改正した。
- すこやかマタニティ教室 27千円
親になる準備の支援や子育て支援を行う。
(対象) 妊婦とその家族 年3回 1回15組(予定)
- 母子訪問指導 7千円
保健師等が、乳幼児のいる家庭を訪問し保健指導を行う。
(対象) 妊産婦 乳児 新生児の全家庭を訪問。
- 乳幼児健康診査
4か月児健康診査 497千円
1歳6か月児健康診査 1,108千円
3歳児健康診査 1,026千円
乳幼児の健康管理と育児支援のため、乳幼児健康診査を行う。
(対象) 4か月児 予定者数 380名
1歳6か月児 予定者数 400名
3歳児 予定者数 400名
- 幼児歯科保健対策 1,213千円
フッ素塗布やむし歯予防等の健康教室を行う。
フッ素塗布、フッ素洗口、ブラッシング指導、むし歯予防教室

4 地域医療対策等経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	3	1,181	1,181	1,181

- 市内の歯科医院が、当番制により年末年始・日曜等の歯科救急患者の診療を確保する。 481千円
- 訪問看護ステーションが在宅ケアを重視したサービスを提供する。 700千円

5 救急医療対策事業負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	3	12,264	12,263	12,263

- 広域救急医療対策事業負担金 8,172千円
西胆振医療圏の7病院が輪番制により、休日・夜間の診療体制を整え、2次救急患者の医療を確保する。
事業内容 広域救急医療対策事業
- 救急医療啓発普及事業負担金 1,449千円
登別・室蘭市内の5病院が、当番医制により、休日及び夜間の診療体制を整え、外来救急患者の医療を確保する。
事業内容 救急医療啓発普及事業
- 小児救急医療支援事業負担金 2,643千円
西胆振医療圏の2病院が、休日・夜間の診療体制を整え、小児重症救急患者の医療を確保する。
事業内容 小児救急医療支援事業

6 市立室蘭看護専門学院整備費負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	3 新規	1,671	0	0

市立室蘭看護専門学院の移転及び定員拡大に伴う施設改修費等の一部を負担する。
負担額総額 4,033千円
うち平成21年度予算 1,671千円
平成22年度～平成36年度の支払予定額 2,362千円

目2 予防費 (予算説明書P96～P97)

1 健康づくり推進協議会経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	1	99	50	50

市民の健康づくり推進のため、登別市健康づくり推進協議会が健康増進法及び母子保健法に基づいた実施計画策定や実施運営を協議する。

2 エキノコックス症対策経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	2	64	60	60

肝機能に障害を引き起こすエキノコックス症の感染予防の周知や血清検査などを行う。

血清検査 対象 小学3年生以上
実施予定 6月
会場 しんた21

3 予防接種経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	2	68,103	66,051	66,051

感染症による病気の発生を未然に防ぐため、予防接種を行う。

集団～ポリオ

個別～BCG、3種混合、2種混合、麻しん・風しん、インフルエンザ（高齢者）

時限措置～麻しん・風しん（中1・高3）

4 野犬掃討・畜犬登録等経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	1	8,998	9,830	8,320

犬による人や家畜などへの危害を防止するため、野犬掃討や畜犬の登録、狂犬病予防注射の接種の推進を図る。また、蜂による刺傷事故防止やカラスの繁殖期における威かく被害防止のため蜂の巣やカラスの巣の駆除を行う。

目3 保健事業費（予算説明書P96～P99）

1 健康増進事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	2	27,882	28,309	28,309

○ 健康づくり事業 608千円

生活習慣病等の知識・普及を図り、市民の健康づくりを推進する。

健康教室・健康相談・訪問指導の実施、健康手帳の配布

○ 健康診査事業 27,274千円

疾病の早期発見・早期治療を図り、市民の健康づくりを推進する。

健康診査 40歳以上の生活保護受給者

がん検診 肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診(40歳以上)
前立腺がん検診(50歳以上)、子宮がん検診(20歳以上)

歯周疾患検診 年度内に満40歳、50歳、60歳、70歳になる方で、歯科通院中でない方

2 女性の健康づくり推進事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	2	687	745	745

健診機会の少ない女性を対象に健康診査を行い、生活習慣病の予防や健康づくりの意識高揚を図る。

対象 19歳～39歳の女性

目4 環境衛生費（予算説明書P98～P99）

1 葬斎場運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	15,647	15,827	15,827

葬斎場の維持管理及び周辺整備に要する経費

2 墓地管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	5,541	5,767	5,767

墓地の維持管理及び周辺整備に要する経費

3 墓地施設整備事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	4,500	1,680	1,680

墓地施設を整備し、機能・景観の回復を図る。

富浦墓地駐車場改良工事・亀田霊園法面改良工事

4 墓地管理システム更新事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1 新規	2,368	0	0

事務の効率化を図るため、現在の墓地管理システムのリース期間が終了するのにあわせ、新たな機能を有する新システムに更新する。

目5 公害対策費 (予算説明書P98～P99)

1 公害対策経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	1	1,485	1,486	1,486

美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために交通量・騒音調査や河川の水質測定調査、大気中のダイオキシン類の測定調査などを行う。

国道36号線沿道自動車交通量・騒音調査(各2地域)

河川水質測定調査

登別川(年4回) 鷺別川外9河川(年2回) サト岡志別川(年4回)

有害大気汚染物質調査事業(年2回、幌別中学校グラウンドで実施)

第4款 衛生費 項2 清掃費

目1 清掃総務費 (予算説明書P100～P101)

1 衛生団体連合会運営事業助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	2	500	500	500

公衆衛生の向上と良好な生活環境の保全のために、地区衛生組織の実践活動を促し、清潔で美しいまちづくりを進めるとともに、ごみの減量とリサイクルの普及や啓発活動、クリーンリーダー育成事業を行う同連合会の運営に対して補助する。

2 資源回収団体奨励金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	2	5,670	5,700	5,421

新聞紙や金属類、びんなどの再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子ども会などの登録団体に奨励金を支給し、ごみの減量化と資源の有効利用を図り、循環型社会の形成に努める。

3 ごみ減量化推進等経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	2	37,677	34,440	34,440

- ごみ袋管理経費 36,580千円
家庭から排出されるごみ量に応じた負担の公平化、ごみ減量・分別・リサイクルの推進、ごみ処理経費の軽減化や処理に対する市民意識の高揚を促進するため、家庭系ごみの有料化を実施している。
- リサイクル・啓発経費 941千円
びん・缶・ペットボトルなどの資源ごみを回収し、ごみの減量化や資源の再利用を図るほか、不用品ダイヤル市やガーデニング講習会を行い、リサイクルに対する意識の高揚を図る。
- ごみステーションネット化推進事業補助金 156千円
ごみステーションに出されたごみにネットを掛けることで、周辺的美観や衛生を保持し、ごみ収集の効率化を図るため、町内会などに対し、ごみネット購入費の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付する。

4 リサイクルまつり開催経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	2	59	74	74

リサイクルまつりを通して、市民にごみの減量やリサイクル意識の向上を促しごみ減量化を推進し、循環型社会の形成に努める。

5 不法投棄等防止経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	2	50	103	103

廃棄物の不法投棄及びポイ捨て防止のため、看板やバリケード等を設置する。

目2 塵芥収集費 (予算説明書P100～P101)

1 塵芥収集運搬業務委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	2	117,180	117,180	117,180

家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「有害ごみ」の収集運搬業務を委託する。

目3 塵芥処理費 (予算説明書P100～P101)

1 クリニクルセンター運営管理経費・最終処分場運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	2	705,809	783,303	780,053

クリニクルセンター及び廃棄物管理型最終処分場において廃棄物の適正な処理を行い、生活環境の保全と循環型社会の形成を図る。(クリニクルセンターは白老町との広域処理を実施)

また、千歳最終処分場についても、適正な維持管理に努める。

- クリニクルセンター運営管理経費 660,256千円
- 最終処分場運営管理経費 45,553千円

目 4 し尿処理費 (予算説明書P100～P103)

1 し尿処理施設整備事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	3	700	5,500	4,788

老朽化している施設を整備補修し、し尿及び浄化槽汚でいを適正に処理する。

2 し尿収集業務委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	3	46,967	47,355	46,967

し尿収集世帯の良好な生活環境を維持するため、業務委託によりし尿収集を効率的に実施する。

3 汚水処理施設共同整備事業費負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	1	3	165,000	1,080	861

し尿及び浄化槽汚でいを下水道施設で処理するためのし尿投入施設建設に要する経費の一般会計負担分を公共下水道事業特別会計に支出する。

負担金の財源内訳

負担金	財源内訳	
	市債	一般財源
165,000	114,000	51,000

第5款 労働費 項1 労働諸費

目 1 労働諸費 (予算説明書P104～P105)

1 登別市シルバー人材センター補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	3	2	9,500	9,500	9,500

高齢者の就業機会の確保や生きがいの充実、社会参加を図る同センターの事業へ補助する。

平成20年12月末会員数 451名 受託件数 1,885件

2 高校生のための企業見学会経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	4	110	135	135

高校生を対象に企業見学会等を実施することにより、働くことへの意識の醸成、地域産業や企業に対する理解の深化、職業選択の視野を広げるなど、就職に向けた支援を行う。

3 雇用対策救援事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	4	25,979	25,651	25,651

季節労働者の通年雇用と冬季就労の場の確保に努め、季節労働者とその家族の福祉を増進し、季節労働者の安定就労と社会生活の向上を図る。

4 地域職業相談室運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	4	2,912	2,916	2,916

登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室(ジョブガイドのぼりべつ)をハローワーク室蘭と連携して運営管理を行う。

求職者の求職受理・職業相談・職業紹介・求人情報の提供などを行い、市民の就職の促進及び利便性の向上を図る。

平成20年12月末現在の延利用者数 13,447人

5 労働相談事業助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	4	1,000	1,000	1,000

労働環境の改善や雇用の安定確保等のため実施する労働相談事業に助成する。

組合員総数 849名(平成20年10月1日現在)

6 勤労者特別融資積立金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	4	35,000	35,000	35,000

市内に居住する勤労者の生活安定を目的に、生活などに必要な資金の融資を行う。

融資内容(利率は平成21年1月末日現在)

生活(一般) 1件当たり貸付限度額 100万円

償還期間 10年以内 利率2.28%

生活(特別) 1件当たり貸付限度額 30万円

償還期間 3年以内 利率1.00%

教育 1件当たり貸付限度額 150万円

償還期間 10年以内 利率1.94%

目4 職業訓練センター費 (予算説明書P104~P105)

1 事業所内職業訓練助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	4	2,100	2,100	2,100

技能労働者の育成を図るため、職業能力開発促進法に基づき事業所内職業訓練事業を実施している登別職業訓練協会に助成金を交付する。

第6款 農林水産業費 項1 農業費

目2 農業総務費 (予算説明書P106~P107)

1 市民農園経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	566	505	505

野菜づくりや農作業を通し、農業や農村への理解を深めるとともに、市民の健康増進や生きがいづくりの推進を図ることを目的に市民農園を開園する。

開設場所 札内地区 50 区画 1 区画あたり 49 m²

開設期間 4 月下旬～10 月

2 有害鳥獣駆除経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	667	735	735

キツネ・鹿・カラス等による農業被害等を最小限に食い止めるため駆除を行う。

3 農業振興特別補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	7,590	9,302	9,302

土地改良事業の円滑な推進を図るため、昭和43年以降に実施した土地改良事業(道営農免農道整備事業)に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助する。

4 担い手育成総合支援協議会負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	30	30	30

農業の担い手の育成・確保を目的に、市・伊達市農業協同組合・胆振農業改良普及センター・農業者によって設立した担い手育成総合支援協議会に係る負担金(協議会の実施事業)

担い手アクションサポート事業

- ・認定農業者制度の普及啓発
- ・担い手の育成・確保
- ・認定農業者のフォローアップ

目3 畜産費 (予算説明書P106～P107)

1 胆振西部乳牛検定組合補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	450	450	450

胆振西部乳牛検定組合に補助金を交付し、活動を支援する。

牛群検定業務、経営改善指導業務、後代検定推進業務

2 酪農ヘルパー事業運営補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	720	720	720

酪農経営の安定的な発展と生活環境の改善向上を図るため、酪農ヘルパー事業の普及、ヘルパー要員の研修・確保を行う伊達市酪農ヘルパー利用組合に補助金を交付する。

伊達市酪農ヘルパー利用組合：加入予定農家数 9 戸

3 牧場管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	1,195	1,145	1,145

草地不足の酪農家の育成牛などを市牧場（鉾山町）で預託することにより、飼養管理、労働の省力化を図る。

草地維持管理事業、家畜防疫事業、預託牛飼育管理事業

目 4 農地費（予算説明書P106～P107）

1 農業用施設等管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	767	605	605

農業用排水路などの施設の補修などを行う。

既設排水路の修繕、海岸吐口閉塞除去作業

目 5 中山間地域対策費（予算説明書P106～P109）

1 中山間地域等直接支払交付金・中山間地域等直接支払推進事務費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	1,906	1,920	1,920

耕作放棄地の発生防止、農地の多目的機能の確保を図るため、中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、農業生産条件の不利な地域における農業者を支援する。

実施事業：農道維持管理活動、集落説明会等

事業費：交付金 1,770千円／事務費 136千円

目 6 札内高原館費（予算説明書P108～P109）

1 札内高原館運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	6,066	5,076	5,076

体験学習を通して地域間の交流を深めるとともに、体育館等の開放により札内地区におけるコミュニティの場としての活用を図る。

コミュニティ施設（交流室、体育館等）の開放

管理委託（指定管理者）平成21年度～平成23年度

第6款 農林水産業費 項2 林業費

目 1 林業振興費（予算説明書P110～P111）

1 森林整備地域活動支援交付金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	1,156	1,070	1,070

森林の有する多面的機能の発揮に向けた適切な森林整備の推進に必要な地域活動に対して、国、道とともに支援を行う。

2 民有林造林推進事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	6,173	7,418	6,838

民有林のうち国、道の補助を受けた植栽、下刈、除間伐事業に対し国、道の補助額を控除した残額に対して補助を行い、森林を守る。

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳		
	道支出金	市債	一般財源
6, 173	2, 223	1, 100	2, 850

3 森林愛護啓蒙事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	100	100	100

山火事、遭難防止のための巡視活動や啓発チラシの配布を通じた入山者へのマナー遵守の呼びかけ、看板等の設置を行う森林愛護組合連合会の事業に補助を行う。

4 林業振興経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	1	570	588	427

森林の保護や治山施設の効果を高めることにより急傾斜地等の保護等を行い、地域住民の安全や生活環境の向上を図る。

事業内容 治山施設の修繕、保安林の保護

第6款 農林水産業費 項3 水産業費

目1 水産業総務費 (予算説明書P112～P113)

1 漁港まつり運営費補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	320	350	350

事業内容 海上安全大漁祈願祭、海産物即売、青空市、朝揚げ鮭の即売、花火大会
開催日 9月12日・13日(予定)

2 漁業専門員設置補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	1, 200	1, 200	1, 200

地域海洋特性に適した魚介類の栽培や新しい資源づくりを推進するため、漁協、白老町と広域的に専門員を配置し、漁家経営の安定を目指す。

3 沿岸漁業構造改善事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	6, 995	6, 995	6, 995

いぶり中央漁業協同組合が建設した荷捌所(製氷・冷蔵施設併設)及び水道管の敷設事業費について補助する。

4 登別救難所運営事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	250	250	250

海難事故の防止啓発や救助活動を行う登別救難所の運営費の一部を補助する。

5 漁業近代化資金利子補給金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	1,139	913	913

漁業経営の近代化を促進し、負担を軽減するため、漁業近代化資金に係る借入金利子の1%を負担する。

平成21年度予定 新規貸付 35,000千円

目2 漁港管理費 (予算説明書P112~P113)

1 登別漁港維持管理事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	319	317	317

登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助する。

2 鷺別漁港維持管理事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	2	1	102	104	104

港内照明灯電気料の一部を補助する。

第7款 商工費 項1 商工費

目1 商工総務費 (予算説明書P114~P115)

1 産業クラスター構築支援事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	2	1,100	1,900	1,200

地場の様々な産業を集積し、自立的発展を可能とする地域市場を創出するため、新たな事業モデルの構築及び新ビジネス創出等に関する研究を支援し、地域再生計画「登別市産業クラスター形成計画」の推進を図る。

2 起業化支援事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	2	6,000	6,000	6,000

市内において、地域の資源や技術を活用した新たな地場製品の創出、新たな技術の事業化及び新たなサービスの提供を行う起業化の事業を支援し、市内経済の活性化を図る。

3 ものづくり創出支援事業負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	2	2,600	2,600	2,600

(財)室蘭テクノセンターが行う「ものづくり創出支援事業」に対し、市内中小企業等が活用した経費を負担する。

4 企業立地振興補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	2	860	860	860

企業の立地及び振興を図るため、事業場の固定資産額や常用従業員数など一定の条件のもと、市内に事業場を設置または増設する事業者に対して、これに係る費用の一部を補助する。

5 新産業創造活動事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	600	600	600

地域の特性や技術などを活用した新技術、新製品、新サービス等の研究・開発事業を行う団体等を支援し、複合産業の基盤をつくる。

6 物産展参加補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	200	300	200

地場企業の振興と経営の安定化を図るため、物産会に所属する企業の商品を物産展等で紹介・宣伝し、ビジネスチャンス拡大等の活動をしている登別商工会議所に対し支援する。

7 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	71	76	76

札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し札幌圏との経済交流を図る。

8 中小企業相談事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	8,000	8,000	8,000

市内商工業者の発展と経営安定を図るため、金融や税務等の各種相談業務など、登別商工会議所中小企業相談所が行う事業に対して補助する。

9 登別商工会議所事業推進職員設置補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	1,539	1,615	1,512

登別商工会議所が行う各種事業の推進及び関係機関との連携強化のため商工会議所に派遣する市職員に係る経費の一部を補助する。

10 中小企業特別融資利子補給金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	395	395	395

中小企業の資金調達に係る負担を軽減し、その事業活動を支援するため、中小企業特別融資制度の小口事業資金、団体事業資金、新分野進出支援資金の利用者に対し、その利子を補給する。

小口事業資金 年1.0% 団体事業資金 年1.5%
 新分野進出支援資金 年0.7%

11 中小企業特別融資積立金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	66,000	66,000	66,000

中小企業の円滑かつ積極的な事業活動を支援するため、市内中小企業に対し、低利の融資を行う。

中小企業特別融資資金
 一般事業資金、団体事業資金、小口事業資金、事業所開設資金、
 小規模商工業近代化資金、新分野進出支援資金

12 住宅改良促進特別融資積立金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	25,000	25,000	25,000

市民の住環境の向上と地場産業の振興育成を図るため、市内業者を利用して住宅改良、バリアフリー改良、新エネルギー関連改良を行う市民に対し、低利の融資を行う。

1件当たり融資限度額 300万円 償還期間 10年以内
 利率 住宅改良 1.95%、バリアフリー改良 1.75%、
 新エネルギー関連改良 1.75%
 利率は平成21年1月末日現在

13 商店街近代化融資積立金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	3	8,000	8,000	8,000

市内の商店街の近代化を図るため、北海道中小企業高度化資金貸付制度の対象となる商店街近代化に関する事業に対し、低利の融資を行う。

商店街近代化融資資金
 店舗改造等資金
 商店街環境整備資金

14 いいモノ発見「のぼりべつ」(明日のまちづくり事業費)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	2	1,390	0	0

市内の既存資源や商品・製品の発掘を行うほか、「のぼりべつブランド」推奨制度を創設し、発掘した商品や市内業者が開発した新商品・新製品に推奨マークを交付する。

15 中央町2丁目買物駐車場整備事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	1	1	7,000	0	0

買物客の利便性を高め、市内商店街の活性化を図るため、中央町2丁目に買物駐車場を整備する。

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
7,000	5,200	1,800

第7款 商工費 項2 観光費

目1 観光総務費 (予算説明書P116～P117)

1 登別観光協会助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	1	10,600	10,600	10,600

新しい時代のニーズに対応できる観光地づくりを推進するため、その重要な役割を担う観光協会の安定運営を支援する。

2 登別観光協会特別助成金 (衛生設備整備事業分)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	1	18,000	6,000	0

観光産業の振興のためホテル・旅館が設置している専用水道施設の衛生設備整備に対して助成する。

3 観光振興特別対策事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	1	41,900	41,900	41,900

市の基幹産業である観光産業の振興を図るため、観光協会が行う誘客促進事業を支援する。

4 観光客誘致促進事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	1	3,750	3,921	3,921

各種イベントへの参加やポスター、パンフレットの作成・配布による観光PRのほか、誘客に資するソフト事業等に取り組み、観光客誘致を促進する。

5 観光ホスピタリティ推進事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	1	900	900	900

登別観光のイメージアップと誘客促進の一助として、地域ぐるみで観光客を温かくもてなすホスピタリティ推進事業を助成する。

6 友好交流促進都市推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	2	622	622	622

中国広州市と友好交流を促進し地域レベルでの日中の友好親善を深め、観光振興を図る。

目 2 観光施設費 (予算説明書 P 1 1 6 ~ P 1 1 7)

1 観光施設維持管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	1	3, 263	3, 778	3, 846

- 国立公園内観光施設維持事業
カルルス駐車場トイレ清掃委託、遊歩道の補修、観光施設のための敷地借上げ等
- 国立公園清掃活動事業補助金
(財) 自然公園財団登別支部に対する補助金
- 登別フラワーファンタジーロード維持管理事業
花の観光を推進するため、観光客の道路利用が多い道道洞爺湖登別線、中登別町の分離帯や植樹帯に植栽した宿根草の適切な維持に努め、観光地の景観向上を図る。

目 3 温泉供給管理費 (予算説明書 P 1 1 6 ~ P 1 1 7)

1 温泉供給施設維持管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
3	1	1	13, 528	14, 020	14, 020

上登別地区への安定した温泉供給を目的として、施設の維持や補修等を行う。

第 8 款 土木費 項 1 土木管理費

目 1 土木総務費 (予算説明書 P 1 1 8 ~ P 1 1 9)

1 のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	1	2	359	450	450

きれいなまちづくりの推進を図るため、道路・公園・河川敷など公共施設の清掃や美化のボランティア活動を行う個人のグループや企業・各種団体を支援する。

第 8 款 土木費 項 2 道路橋梁費

目 1 道路橋梁総務費 (予算説明書 P 1 2 0 ~ P 1 2 1)

1 道路台帳図作成委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	5, 500	5, 500	5, 500

新規認定や変更認定した路線の現況測量を行い、台帳を作成するほか、道路工事により整備された道路の台帳修正等の業務を委託し、市道管理のデータ整理を行う。

2 市道用地確定測量委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	2,000	1,987	1,987

市道の適切な管理を遂行するため、道路整備を完了している市道で未処理用地となっている用地の現況測量や用地確定測量を年次的に行う。

3 市道用地買収費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	5,390	7,125	7,125

道路整備を完了している市道の未処理用地のうち、市道用地確定測量を行った未処理用地の買収を行う。

目2 道路維持費 (予算説明書P120～P121)

1 ロードマーク設置費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	3	1,500	1,500	1,500

車道センターライン及びドット線等の区画線塗布を行う。

2 除雪委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	50,000	40,000	40,000

冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保するため、業務委託により、市道の除雪や凍結防止剤の散布を行う。

3 冬道対策経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	5,200	5,672	5,672

すべり止め用砂箱等の補修や融雪剤の散布等を行う。

4 市道常時補修費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	68,660	68,660	68,660

歩行者や通行車両の安全確保のため、市道の維持管理・補修を実施する。

目3 道路新設改良費 (予算説明書P120～P121)

1 道道倶多楽湖公園線(紅葉谷工区)改良受託事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	113,547	81,037	81,037

本路線は、国道36号から登別温泉に通じる主要な観光道路であり、登別温泉地区にとっては生活道路として、また、防災上においても重要な幹線道路であるため、北海道が平成9年度より整備を進めており、紅葉谷大橋交差点から厚生年金病院までの未改良区間を整備するための用地買収を受託する。

受託事業内容 用地買収2件(面積10,239.26㎡)

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	委託金	一般財源
113,547	113,495	52

2 広域幹線、市内幹線道路網の整備

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	150,800	199,600	212,600

○鷺別 30 号線改良事業費 58,800 千円

測量調査 一式、用地買収 一式、道路改良舗装 L=191m W=7.0m+2.5m

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳		
	国庫支出金	市債	一般財源
58,800	34,800	22,000	2,000

○市道舗装排水整備事業費 46,000 千円

市道整備に伴う測量調査委託

市道の改良、舗装工事

道路改良工事 1本 L=100m、道路舗装工事 5本 L=899m

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
46,000	28,600	17,400

○カルルス路線外 1 改良事業費 20,000 千円

橋梁補修（上部工） L=13.6m W=6.0m

橋梁補修（護岸工） L=11.2m、永久杭設置 一式

法面補修（擁壁） 一式、実測実施設計 一式

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
20,000	18,000	2,000

○東町 34 号線改良事業費 15,000 千円

車道オーバーレイ L=40m W=9.0m

道路改良舗装 L=100m W=4.0m~7.5m+2.5m

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
15,000	13,500	1,500

○栄町 26 号線改良事業費 11,000 千円

道路改良（排水工） L=122m、実施設計 一式、用地買収 一式

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
11,000	9,900	1,100

目4 橋梁維持費 (予算説明書P120~P123)

1 橋梁維持補修経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	3,280	3,280	3,280

歩行者や通行車両の安全確保のため、橋梁の維持管理や補修を行う。

第8款 土木費 項3 河川費

目2 河川維持費 (予算説明書P124~P125)

1 河川維持補修経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	1	3,350	3,350	3,350

河川維持工事や河川築堤草刈業務等を行う。

2 河川防護柵設置事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	1	1,000	1,000	1,000

伏古別川に防護柵を設置する。

第8款 土木費 項4 都市計画費

目2 公園管理費 (予算説明書P126~P127)

1 公園維持管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	2	1	90,519	91,031	91,031

市内128箇所の公園・広場や街路樹の維持・補修等を行う。

2 街区公園等清掃交付金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	2	1	640	640	640

公園は地域の身近な憩いの場として利用されることから、その維持管理の一部を町内会等の協力によって行うため、交付金を交付する。

実施予定町内会 40町内会 実施予定公園数 54か所

3 わくわくドキドキ・かめだわんパーク（明日のまちづくり事業費）

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	新規	2,400	0	0

亀田記念公園の利用者が安全・安心に利用できるように、2階休憩室を改修するとともに、休憩室の一部に幼児が遊べるキッズコーナーを設け、子育て世代の公園利用の促進を図る。また、園内において親子で自然を楽しむことができる事業展開を図る。

目3 公園事業費（予算説明書P126～P127）

1 キウシト湿原緑地保全事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1		30,100	56,100	56,100

環境省から重要湿地に選ばれているキウシト湿原の保全と利活用を図る。

事業内容 供給水施設設置工事 一式、園路（木道・観察デッキ）設置工事 一式
事業費の財源内訳

事業費	財源内訳		
	国庫支出金	市債	一般財源
30,100	15,000	13,500	1,600

2 亀田記念公園整備事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1		20,000	15,000	15,000

高齢者や障がい者などが安全で快適に利用できるよう『北海道福祉のまちづくり条例』に基づく施設整備の基準により、施設のバリアフリー化を図りながら整備を行う。

事業内容 駐車場・照明灯・サイン設置工事 一式
事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
20,000	15,000	5,000

目4 緑化推進費（予算説明書P128～P129）

1 緑化推進経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1		4,250	4,250	4,250

市民緑化推進事業

沿道美化事業

試験育苗事業

町内会へ公共施設に植栽する花苗等を配布する。

道道弁景幌別線などの沿道へ花苗を植栽する。（春、夏実施）

町内会等の協力のもとビニールハウス内で、花苗の試験育苗を行う。

みどりの講演会、みどりの教室等

市民の緑化意識の高揚・啓発のため、自然やみどりについての講演会や家庭園芸などについての講習会を行う。

グリーンデータバンク

家庭で不要になった樹木等の有効活用を図るため、受取希望者への仲介を行う。

2 幌別鉄南地区海浜地緑化事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	新規	2,400	0	0

幌別鉄南地区の海浜地に、地域住民と協働でクロマツを植栽し、景観の改善を図るとともに緑化を進める。

目5 地籍調査事業費 (予算説明書P128~P129)

1 地籍調査管理システム更新事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	3	1	新規	1,952	0	0

老朽化した地籍調査管理システムの更新を行い、地籍調査成果の地籍図・地籍簿の閲覧・交付業務を継続して行う。

第8款 土木費 項5 住宅費

目1 住宅管理費 (予算説明書P130~P131)

1 市営住宅改善経費(高齢者・身体障がい者施策)

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	2	2		600	2,250	19,190

市営住宅に入居している高齢者や身体に障がいを持つ方が暮らしやすいよう、日常生活の利便性に配慮し、居住環境の改善を図る。

2 住宅政策推進調査委託事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	2	2	新規	5,000	0	0

住宅政策の総合的、長期的な基本方針である「登別市住宅マスタープラン」「登別市営住宅ストック総合活用計画」の見直しを行う。

3 市営住宅火災警報器設置事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
4	2	2		10,500	9,058	8,600

入居者の生命、財産を保護し被害の軽減を図るため、住宅内の寝室等に改正消防法で定められた火災警報器を設置する。

柏木団地	11棟	264戸	富浦団地	1棟	4戸
柏葉団地	5棟	80戸	紅葉谷団地	5棟	20戸
緑ヶ丘団地(平屋)	1棟	2戸			

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳		
	国庫支出金	市債	一般財源
10,500	4,725	5,700	75

目 2 建築指導費 (予算説明書 P130~P131)

1 登別市耐震化促進計画策定事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	新規	5,000	0	0

昭和56年以前に建設された建築物の耐震化を図るため、住宅やその他建築物の現状を把握し、耐震化に向けた取り組みや方針を策定する。

第9款 消防費 項1 消防費

目 1 常備消防費 (予算説明書 P132~P133)

1 高規格救急自動車更新事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	3	新規	29,600	0	0

驚別支署配置の高規格救急自動車を更新することにより、安全で迅速な搬送体制と救急救命率の向上を図る。

2 救える命があります！(明日のまちづくり事業費)

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	2	3	新規	1,860	0	0

市民が集まる各種イベント等に AED(自動体外式除細動器)を貸出すとともに、救急講習会を強化し、救命率の向上を図る。また、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、住宅火災警報器の普及促進を図る。

3 はしご付消防ポンプ自動車整備事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	3	2	新規	9,745	0	0

市民及び消防隊員の安全確保と円滑な消防活動のため、はしご付車消防ポンプ自動車のオーバーホールを実施する。

事業費 26,250 千円
 備荒資金利子分 1,051 千円
 総事業費 27,301 千円

・平成21年度予算額 9,745 千円
 内訳 295 千円 (備荒資金利子分)
 9,450 千円 (整備委託料)

・債務負担行為 (期間 平成22年度から平成25年度)
 17,556 千円 (限度額)

第10款 教育費 項1 教育総務費

目3 指導教育研究費 (予算説明書P136～P139)

1 不登校・いじめ等対策経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	1	221	239	239

不登校やいじめ等の対策のため、専門相談員による相談や研修会の開催、広報誌による啓発などを行う。

主な事業内容

教育相談、いじめ相談電話	専門相談員2名	月～金9:00～17:00
不登校・いじめ等対策会議	年2回	教職員を対象とした研修会
父母懇談会の開催	月の第2火曜日	ふれあいサポート懇談会
「いじめ学習資料」の配布	年1回	広報誌「手をつなぐ親と子」
		年3回

2 スクールカウンセラー活用事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	1	300	162	162

小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動について、臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図る。

配置校(拠点校方式) 西陵中学校、緑陽中学校

3 心の教室相談員活動経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	1	1,804	1,815	1,815

生徒が悩み等を気軽に相談し、ストレスを和らげることのできる第三者を生徒の身近に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供する。

配置校 幌別中学校、西陵中学校、鷲別中学校、登別中学校、緑陽中学校

4 特色ある学校づくり推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	4,322	4,516	4,516

登別温泉入浴体験事業

参加対象児童 410名(各小学校3年生)

総合的な学習活動研究推進事業

自由な学習環境の中で学ぶ総合学習の推進を図る。

生活科実施等経費

対象学校数 8校(全小学校) 事業内容 動物の飼育・学校菜園

5 自然体験学習推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	819	972	972

自然体験を通して、児童・生徒の社会性・自主性を育てる。

6 小中学校情報教育推進事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	50,432	58,779	54,047

小・中学校の情報教育の推進を図るため、年次的にパソコン等の情報通信機器の整備を図る。

パソコン設置台数 小学校 200 台・中学校 205 台・学校事務 13 台・教員用 280 台
 学校図書館用 13 台・情報教育センター 5 台・サーバ 22 台
 計 738 台

7 言語障害通級指導教室運営経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	194	207	207

言語治療を必要とする幼児・児童を対象に、ことばの教室を開設し、言語障害児教育の充実・伸展を図る。

幼児部・小学部の入級判定、保護者との教育相談、言語指導

8 特別支援教育振興費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	363	363	363

心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すため、特別支援教育指導内容の研究と実践を図る。

9 教育研究会運営事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	720	720	720

教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るため、各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して補助金を交付する。

10 教育実践研究奨励経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	672	672	672

市内小・中学校の教育レベルを高めるため、実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成する。

事業内容 研究主題に基づく研究、成果の公開研究会、研究紀要作成
 実施校 新規3校 継続6校

目 4 交流教育推進費 (予算説明書 P138～P139)

1 外国青年招致経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	9,579	4,913	4,493

生きた英語を指導する外国人英語指導助手(AET)を活用し、英語を使ったコミュニケーション能力の育成などを図る。(平成21年度から1名増員の2名体制)

事業内容 中学校での英語指導、市民対象の英会話教室
 小学校での交流、地域住民等との交流

2 姉妹都市小中学校交流事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	1	780	299	299

白石市との姉妹都市締結を契機に、児童・生徒の相互交流を図るため、小中学校交流事業を実施。

平成 21 年度事業の内容

ふるさと豆記者交流事業

実施日 平成 21 年 8 月

事業内容 市内の小学生 10 名が宮城県白石市を訪問し、相互交流を図る。

ふるさとのまちを語る交流事業

実施日 平成 21 年 10 月

事業内容 宮城県白石市の生徒が市内中学校を訪問し、相互交流を図る。

目 5 生涯学習推進費 (予算説明書 P 1 3 8 ~ P 1 3 9)

1 生涯学習推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	1	1	220	220	220

市民が、生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を目指す。

生涯学習情報の提供

生涯学習ニュース (明日をひらく窓) 生涯学習情報

生涯学習ガイド 生涯学習人材バンクハンドブック

各種会議の開催

生涯学習連絡会の開催 市内小中学校と教育委員会・市長部局との意見交換

生涯学習フェスティバルの開催

2 子ども地域交流プラザ事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	3	1,000	1,000	1,000

ふれあい・自然体験などの事業を行っている登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付する。

事業内容 ふれあい農園、巡視船体験乗船、自然体験学習等

目 6 教育財産管理費 (予算説明書 P 1 3 8 ~ P 1 3 9)

1 教育施設運営管理委託料 (市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	1	1	71,041	71,041	71,041

社会教育施設の運営管理を指定管理者に委託し、市民が活発に文化・スポーツ活動を行えるよう環境を整える。

2 教職員住宅火災警報器設置費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2 新規	452	0	0

入居者の生命、財産を保護し被害の軽減を図るため、教職員住宅に改正消防法で定

められた住宅用火災警報器を設置する。
実施箇所 新生町教員住宅 (24戸)

3 市民会館調光機器更新等事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	1	新規	1,261	0	0

設置後 25 年以上を経過した市民会館の大ホール及び中ホールの照明を管理する調光機器等を更新する。

事業費総額 58,868 千円 うち平成 21 年度予算 1,261 千円
債務負担行為 57,607 千円(平成 22～25 年度)

目 7 教育諸費 (予算説明書 P140～P141)

1 児童生徒健康診断等経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	1		18,757	18,980	18,179

市内の小・中学校の児童・生徒の健康管理のため健康診断を行う。

結核検診(全員)、心臓検診(小1・中1)、ぎょう虫卵検査(小1～小3)、
尿検査(全員)、内科検診(全員)、歯科検診(全員)、眼科検診(小1・中1)、
耳鼻科検診(小1・中1)
新入学対象予定者 407 名

2 私立高等学校教育振興補助金

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2		3,233	4,500	4,233

私学教育の振興を図るため、私立登別大谷高等学校に対して、入学金減免額の 3 分の 2 を上限とした額、並びに備品購入に係る費用の一部を補助する。

3 児童生徒遠距離通学費補助金

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2		3,210	3,492	3,492

バスで通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付する。

補助対象人員 小学校 2校 27名 中学校 3校 103名

4 スクールバス運行経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2		13,248	13,215	13,215

札内町・来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校、幌別中学校へ、カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するため、スクールバスを運行する。

第10款 教育費 項2 小学校費

目1 学校管理費 (予算説明書P142~P143)

1 特別活動推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	240	240	240

学校の実態や児童の発達段階などを考慮し、児童による自主的・実践的な活動(児童会活動等)を助長する。

2 特別支援教育推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	16,780	1,460	1,460

心身に障がいのある児童一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うため、支援員等を増員する。

目2 施設管理費 (予算説明書P142~P143)

1 小学校便所洋式化事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	42,000	42,500	42,500

小学校の便所を洋式に改修するとともに、車椅子利用者用便房を設置する。

平成21年度便所改修工事実施校

幌別小学校、富岸小学校、鷺別小学校、幌別東小学校、登別小学校

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
42,000	31,500	10,500

2 小学校耐震診断等事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2 新規	3,738	0	0

耐震化優先度調査の結果を踏まえて、地震に対して倒壊等の危険性が高いと推定される建物について、耐震診断(2次診断)を行う。

平成21年度耐震診断実施校

鷺別小学校(屋体)・青葉小学校(屋体)

目3 教育振興費 (予算説明書P142~P143)

1 特別支援教育就学奨励費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	1,263	1,221	1,221

特別支援学級に就学している児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助する。

対象人員 小学校 34名

2 要保護・準要保護就学援助費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	9	36,146	34,751	34,751

経済的な理由により就学が困難と認められる児童の保護者に、就学に必要な援助を行う。

小学校 492名

第10款 教育費 項3 中学校費

目1 学校管理費 (予算説明書P144~P145)

1 中学校体育連盟助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	1	1,460	1,460	1,460

市内中学校の体育活動の振興及び推進を目指し、健全なスポーツを通して生徒の心身の健康及び学校間の親睦と交流を深める。

2 特別活動推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	2,650	2,650	2,650

学校の実態や生徒の発達段階などを考慮し、生徒による自主的・実践的な活動(生徒会活動・部活動等)を助長する。

3 特別支援教育推進経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	7,773	1,165	1,165

心身に障がいのある生徒一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うため、支援員等を増員する。

目2 施設管理費 (予算説明書P144~P145)

1 西陵中学校グランドフェンス整備事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2 新規	5,670	0	0

生徒が安全で安心な環境で学習できるよう、老朽化の著しい西陵中学校グランドフェンスの整備を行う。

実施校 西陵中学校

2 登別中学校受変電設備整備事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2 新規	5,500	0	0

児童が安全で安心な環境で学習できるよう、老朽化した登別中学校の受変電設備を改修する。

実施校 登別中学校

事業費の財源内訳

事業費	財源内訳	
	市債	一般財源
5,500	4,100	1,400

3 中学校耐震診断等事業費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	新規	6,552	0	0

耐震化優先度調査の結果を踏まえて、地震に対して倒壊等の危険性が高いと推定される建物について、耐震診断（2次診断）を行う。

平成21年度耐震診断実施校

鷺別中学校（校舎、屋体）・登別中学校（屋体）

目3 教育振興費（予算説明書P144～P145）

1 特別支援教育就学奨励費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2		802	1,046	1,046

特別支援学級に就学している生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助する。

対象人員 中学校 16名

2 要保護・準要保護就学援助費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	—		37,049	34,783	34,783

経済的な理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に、就学に必要な援助を行う。

中学校 330名

第10款 教育費 項4 社会教育費

目1 社会教育総務費（予算説明書P146～P147）

1 市民生涯学習推進講座経費

章	節	施策		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	1	1		3,018	2,980	2,980

生涯学習の推進を図るため、「ときめき大学・婦人短期大学」などの事業を実施する。

- ・ときめき大学（4年制）・婦人短期大学（2年制）

教養コース（共通）、専修課程（グループ学習）、選択コース（婦人短期大学は1コース以上必修）

- ・家庭教育学級

12学級（市内私立幼稚園、小学校）

- ・市民マイプラン講座

市民が自主的に行う学習等への支援事業

2 三市合同女性国内派遣研修経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	4	2	180	280	280

地域で活動している女性を先進地に派遣し、全国各地における女性の社会参加や地域活動、学習活動について研修を行う。

期 日 平成 21 年 8 月下旬

場 所 埼玉県嵐山町外

派遣人員 3 名

3 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	—	—	4,629	4,286	4,286

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が行う文化・スポーツ事業を補助する。

文化振興事業

文化教室開催事業 7 事業

(初心者英会話教室、フラワーアレンジメント教室等)

芸術鑑賞事業 3 事業

(道新ジュニアクラシック札幌コンサート、高嶋ちさ子ヴァイオリンコンサート等)

共催事業 3 事業

(文化講演会、市民文化祭、小中学生書初展)

スポーツ振興事業

スポーツ教室開催事業 11 事業

(テニス教室、温泉散策ウォーキング等)

スポーツ大会開催事業 3 事業

(市民スポンジテニス大会、市民ソフトボール大会 (夏・秋))

共催事業 2 事業

(市民ゲートボール大会、市民ミニバレー大会)

4 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	—	—	11,311	11,351	11,351

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営に係る経費を補助する。

5 P T A 連合会助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	2	300	300	300

子どもたちの健全な成長を願い、各単位 P T A が相互に連携して開催する研修会等の活動を支援する。

目 2 婦人研修施設費 (予算説明書 P 1 4 6 ~ P 1 4 7)

1 婦人研修の家維持管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	1	1	3,401	3,688	3,570

市内 8 箇所の婦人研修の家の維持管理を行う。

目3 公民館費 (予算説明書P146～P147)

1 公民館運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	1	1	1,575	1,509	1,509

公民館(登別、登別温泉、鷺別の一部)の運営管理にかかる経費。

目4 図書館費 (予算説明書P146～P149)

1 図書館運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	1	1	16,950	16,821	16,946

図書資料の整備をはじめ、『小中学生の読書感想文・読書感想画コンクール』や『文化講演会』などの読書推進事業を行う。

○図書購入予定冊数 6,800冊

○主な主催事業

小・中学生の読書感想文、読書感想画コンクール、文化講演会
 年長児の読書感想画募集、読み聞かせの研修会
 新刊図書案内及び児童室だよりの発行、図書館まつり
 児童室の拡充及び駐車場の増設

2 移動図書館車運行業務委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	1	1	2,966	2,966	2,966

移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託する。

年間運行予定日数 231日

目5 青少年対策費 (予算説明書P148～P149)

1 放課後子ども教室推進事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
1	1	1	1,577	5,713	5,559

子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動や交流活動などの取り組みを推進する。

開設場所 鷺別小学校内

2 少年の主張大会経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	3	28	47	47

中学生が、日常生活での体験や日ごろ考えていることを広く訴える。

期日 平成21年6月 場所 西陵中学校 発表者数 12名

3 青少年育成指導経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	3	960	940	780

青少年の非行防止を図るため、補導センターや青少年問題協議会を運営し、専任補導員や補導委員による巡回、育成だよりの発行などを行う。

青少年問題協議会（委員 15 名）

青少年補導委員（委員 62 名）

4 成人祭経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	3	530	546	546

登別市成人祭実行委員会主催による成人祭を開催する。

期日 平成 22 年 1 月 10 日（予定） 対象人員 約 650 名

5 子ども会活動振興助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	2	3	830	830	830

『こいのぼりマラソン大会』や『かるた大会』などの活動を行う登別市子ども会育成連絡協議会を支援する。

団体数 43 団体（7 地区連盟）

6 通学合宿 みんなで学ぶ「子ども村」（明日のまちづくり事業費）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1 新規	1,060	0	0

小学生（4～6 年生）が、ネイチャーセンターで支援ボランティアとともに生活し、基本的な生活習慣を身に付けるとともに自然体験や学習活動を行いながら学校へ通う「通学合宿」を実施する。

期日 平成 21 年 10 月～12 月 定員 20 名×4 回（1 回当たり 4 泊 5 日）

目 6 郷土資料館費（予算説明書 P148～P149）

1 郷土資料館運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	2,319	2,310	2,310

郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する。

目 7 文化振興費（予算説明書 P148～P151）

1 中学校音楽祭経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	1	269	270	270

市民会館大ホールを会場に、市内中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部などの生徒が、合唱や合奏など、日ごろの練習の成果を披露する。

期日 平成 21 年 10 月上旬 参加校 6 校

2 文化振興助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	1	800	800	800

『市民文化祭』や『胆振芸術祭』、『文化表彰』などの活動を行っている登別市文化

協会を支援する。

団体数 36団体 約2,100名

3 児童・生徒文化振興助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	1	500	500	500

市内の小・中学校、高校に在籍する児童・生徒が、全道・全国大会に出場する際に、保護者の負担を軽減するため、経費の一部を助成する。

4 三市合同文化事業負担金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	1	1,000	1,000	1,000

三市広域行政における芸術文化振興事業として実施する。

5 文化伝承館運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	330	376	376

郷土の歴史や文化に関する講習会、研究会、体験学習等を開催する。

6 文化財保護経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	331	276	276

文化財保護に関する調査・研究・普及を行う。

7 のぼりべつ文化交流館運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	3,853	4,110	3,723

市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習の場、市民の作品展示場、研修室等として利用を促進する。

8 知里真志保生誕100年記念事業補助金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	3	2	470	0	0

本市出身の偉大な言語学者である知里真志保氏の生誕100年を記念し、その偉業をたたえ、功績を未来につなぐ記念事業を行うウタリ協会登別支部を支援する。

目8 自然体験学習施設費 (予算説明書P150～P151)

1 ネイチャーセンター運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
2	2	1	38,004	38,827	38,827

ネイチャーセンターを拠点に鉾山地区の自然を活用した自然体験活動を推進し、市民の自然に関する意識の高揚を図る。

第10款 教育費 項5 保健体育費

目1 保健体育総務費 (予算説明書P152～P153)

1 体育協会助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	800	800	800

スポーツの振興を図る登別市体育協会を支援する。

加盟団体 21団体 加盟者数 4,614名

2 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	187	434	312

市民のラジオ体操会や体カテスト会、スポーツ団体などの指導者育成研修を行う。

3 スポーツ少年団育成助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	500	500	500

リーダー養成事業や競技別交流会などの活動を行う登別市スポーツ少年団を支援する。

加盟団体 21団体 加盟者数 367名

4 児童生徒スポーツ振興助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	2,300	2,400	2,400

市内の小・中学校・高校に在籍する児童・生徒及び市内のスポーツ団体に所属する児童・生徒が全道及び全国大会に参加する際、保護者の負担を軽減するため、経費の一部を助成する。

5 体育指導委員会経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	592	688	688

生活に直結した体育・スポーツの振興を図ることを目的とする体育指導委員会の活動に要する経費

根拠法 スポーツ振興法

委員数 15名

役割 スポーツ振興の進行役、コーディネーター

事業内容 市民ラジオ体操会・市民体カテスト会
文化・スポーツ振興財団事業等への協力
講習会等での指導

6 三市スポーツ大会事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	232	232	232

三市広域行政における青少年健全育成事業の一環として、スポーツ大会を実施する。

陸上競技大会

期 日 平成 21 年 8 月上旬 場所 室蘭市入江陸上競技場
参加対象 小学校 4～6 年生

7 学校開放事業費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	4, 727	4, 588	4, 588

スポーツを通じて市民の健康増進と交流を図るため、小中学校の屋内体育館を市民に開放する。

屋内体育館

開放校 10 校 開放期間 平成 21 年 4 月中旬～平成 22 年 3 月上旬
平成 19 年度実績 利用団体 64 団体 利用者数 32,336 名

8 姉妹都市スポーツ交流事業助成金

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
6	2	1	510	1, 183	1, 183

姉妹都市の宮城県白石市とスポーツを通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』の活動を支援する。

平成 21 年度登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業野球大会

開催日 平成 21 年 7 月下旬 (予定)

場 所 登別市

登別市からの参加者 33 名 (予定)

姉妹都市国際親善水泳大会

開催日 平成 21 年 9 月中旬 (予定)

場 所 スパッシュランドしろいし (白石市)

登別市からの参加者 24 名 (予定)

目 3 青少年会館費 (予算説明書 P152～P153)

1 青少年会館運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	19, 384	20, 528	20, 528

市内 4 か所にある青少年会館を運営管理し、市民の利用促進を図る。

平成 19 年度実績 利用者数 19,298 名

目 4 市民プール費 (予算説明書 P152～P153)

1 市民プール運営管理経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	48, 228	49, 355	49, 355

市民の幅広いニーズに対応して公認競技用プールの機能、アクアスポーツ普及のための機能、水の効能を生かした健康増進機能及びトレーニングルームを確保することにより、市民の健康増進と余暇の健全な活用を図る。

2 市民プールバスパック業務委託料

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1	52	53	53

市民プールの利用者増を図るため、路線バス運賃とプール入館料をセットにしたバスパックを実施する。

3 市民プールランニングマシン更新経費

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
5	4	1 新規	41	0	0

トレーニングルームに設置しているランニングマシン5台のうち老朽化した2台の更新を行う。

事業費総額 2,457千円

うち平成21年度予算 41千円

うち債務負担行為分 2,416千円（平成22年度～平成25年度）

第11款 公債費 項1 公債費

目1 元金（予算説明書P154～P155）

通常分

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	2,766,614	2,767,921	2,767,921

繰上償還分

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	28,566	60,542	60,542

目2 利子（予算説明書P154～P155）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	503,219	541,797	520,603

一時借入金分

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算
—	—	—	4,000	4,000	4,000

第12款 給与費 項1 給与費

目1 職員給与費（予算説明書P156～P157）

① 職員数

	21年度	20年度	19年度	
	当初	当初	当初	年度末
職員	454	471	489	482
嘱託	142	119	137	133
計	596	590	626	615

※市長・副市長・教育長を含まず

② 平均給与・平均年齢・ラスパイレス指数

	平均給与月額	平均年齢	ラスパイレス指数
平成19年度	393,549円	45歳7月	92.1(全道28位)
平成18年度	391,978円	45歳10月	91.5(全道29位)
平成17年度	398,386円	45歳11月	90.6(全道30位)

※地方公務員給与実態調査における一般行政職員を対象

※平均給与月額、平均年齢については、各年度4月1日現在

※給与月額＝給料＋諸手当

【特別会計】

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計は、昨年度、後期高齢者医療制度を始めとする様々な制度改正があり、国民健康保険運営等は大きく影響を受けた。また、国民健康保険税に後期高齢者支援分が新設されたことから税率の調整を行った。

国保財政は、平成19年度決算で約5億7,300万円の累積収支となり、平成20年度も約5億4,800万円の累積収支となる見込みから、医療費の動向や国からの国保財政への支援、診療報酬の動向について見極め、慎重に検討を重ねた。

その結果、平成21年度から平成23年度までの財政見通しを作成し、平成23年度末までに約1億8,900万円を投入し、国民健康保険税の医療給付費分の税率を引き下げることとして予算編成を行った。

【課税限度額及び税率等の改正】

○ 医療給付費分

税率を引下げ、1世帯当り年間4,876円の軽減を行う。

内訳は、所得割額を0.5%引下げ、均等割及び平等割をそれぞれ1,000円引下げる。

○ 介護納付金分

平成21年度税制改正に伴い、課税限度額を現行の9万円から10万円に上げる。この限度額引上げにより、限度額対象世帯は、60世帯である。

国民健康保険税の税率及び課税限度額

賦課の区分		平成20年度	平成21年度
医療給付費分	所得割額	9.5%	9.0%
	均等割額(1人当り)	28,000円	27,000円
	平等割額(1世帯当り)	30,000円	29,000円
	課税限度額	450,000円	450,000円
介護納付金分	所得割額	2.5%	2.5%
	均等割額(1人当り)	5,200円	5,200円
	平等割額(1世帯当り)	5,800円	5,800円
	課税限度額	90,000円	100,000円
後期高齢者支援金分	所得割額	1.8%	1.8%
	均等割額(1人当り)	3,800円	3,800円
	平等割額(1世帯当り)	4,000円	4,000円
	課税限度額	120,000円	120,000円

【平成21年度の事業運営】

○ 医療費について

高齢化の進む状況で医療費全体の伸びを約3%の伸びと予想して予算計上した。

○ 国民健康保険税について

平成21年3月末見込みでの所得・人員・世帯の状況をもとに試算し、収納率を現年一般分を87.5%、現年退職分を98.0%として積算した。

○保健事業の強化

従前からの継続事業として、各種がん検診・短期人間ドック・脳ドックに対する助成、高齢者に対するインフルエンザ予防接種費用助成等を実施するほか、昨年から事業実施が義務づけられた特定健康診査・特定保健指導も実施する。

平均被保険者数の推移

(単位：人)

区 分	平成 18 年度 (決算)	平成 19 年度 (決算)	平成 20 年度 (当初予算)	平成 21 年度 (当初予算)
一般分	7,946	7,935	12,600	12,565
退職分	5,453	5,792	1,750	946
老人分	5,830	5,637	—	—
合 計	19,229	19,364	14,350	13,511

学校給食事業特別会計

市内の小中学校、登別明日中等教育学校前期課程及び保育所に、栄養基準を満たし、かつ安全で安心な給食を提供する。

なお、給食費については、米飯・パン、牛乳などの価格上昇が続いていることから、適切な給食を提供するため給食費を改定する。

事業の概要

対 象	人 員 (人)	月額(円)	年額(円)	1食当たり(円)	回数(日)
小学校児童・教職員(8校)	2,736	3,850	46,200	—	185
中学校生徒・教職員(5校)	1,478	4,600	55,200	—	
登別明日中等教育学校前期課程生徒・教職員	253	4,600	55,200	—	
保育所園児(4園)	298	—	—	110	実施日
試食会	小学校	—	—	250	随時
	中学校	—	—	298	

その他：給食用カップ(大と皿を各4,500個)を購入する。
食器洗浄機の更新を行う。

公共下水道事業特別会計

本市の公共下水道事業は、昭和56年度に着手して以来、厳しい財政事情の中、効率的・経済的に事業の推進に努めてきた。平成20年度末の整備面積は1,073.8ha、普及率は約92.4%となる見込であり、平成21年度は登別東町5丁目、登別本町2丁目、3丁目及び若山町3丁目のそれぞれ一部の整備を行う予定である。

若山浄化センターは、平成2年の供用開始から18年を経過しており、老朽化した設備機器の改築更新を行う。

し尿処理施設の老朽化に伴い、平成21年度から2ヵ年計画で若山浄化センターにし尿投入施設の建設工事を行う。

平成16年度から開始した個別排水処理施設整備事業は、対象地域を公共下水道により処理を行う予定地域を除く市内全域としており、平成21年度は浄化槽20基の設置を予定している。

また、公共下水道事業特別会計の市債（元金）残高は、下水道整備の進捗とともに膨らんでいる。これにより市債の償還などにあてる公債費が増加し、下水道事業の運営の大きな負担となることが予想されることから、後年度の財政負担の軽減を図るため、高利率で借り入れた市債について借り換えを行う。

公共下水道事業

○管渠布設工事

登別東町5丁目、登別本町2丁目、3丁目及び若山町3丁目のうち約61.8haの整備を行い、普及率は約95.2%を予定する。

汚水管渠 φ150～250m/m、L=8,610m

○若山浄化センター改築更新

老朽化した設備機器の更新を行う。

○汚水処理施設共同整備事業

し尿投入施設の建設工事を行う。

○水洗化及び排水設備設置の普及促進

水洗便所改造等融資あっせん制度

水洗便所改造等補助金制度

○個別排水処理施設整備事業

公共下水道による整備区域以外の個別排水処理区域において、住民の要望に基づき市が浄化槽を設置し、維持管理を行う。

平成21年度 20基設置予定

老人保健特別会計

老人保健医療制度は平成20年3月で廃止されたが、診療報酬については制度が終了した後も一定期間の請求が認められている。このため、平成21年度老人保健特別会計は、遡及請求等に係る診療報酬分を予算計上する。

○ 老人保健一般医療費の歳出について

(単位：千円)

年 度	予算額
平成 21 年度	30,840

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業については、平成 11 年度に「登別市簡易水道事業特別会計」を設置し運営している。

現在、簡易水道事業は、札内及び来馬地区等の地域へ安全な水道水を供給しており、平成 21 年度予算では、経常的な維持管理に加え、主な事業としては、札内浄水場の送水管の改良及びろ過砂取替工事の事業費を計上した。

主な事業内容

区 分	事 業 実 施 内 容	
	口径 (mm)	事業内容
札内浄水場送水管外改良工事		
送水管改良	φ 150	50.0m
不断水バルブ設置	φ 150	5 箇所
ろ過砂取替工事	—	1 式

介護保険特別会計

介護保険制度に対応するため設置された介護保険特別会計は、介護保険給付等事業と地域支援事業にかかる「保険事業勘定」となっている。

介護保険事業は、介護保険事業計画（3年ごとに策定）に基づき事業運営を進めることになっており、平成 21 年度は、第 4 期介護保険事業計画の初年度となっている。

【介護保険給付等事業】

- 第 1 号被保険者数（各年度当初予算）

区分	21 年度	20 年度	19 年度
被保険者数	14,164 人	14,000 人	13,500 人

- 介護保険料（第 1 号被保険者分）

区 分	予算額	対象者数
特別徴収（現年分）	437,403 千円	12,039 人
普通徴収（現年分）	69,470 千円	2,125 人
普通徴収（滞納分）	3,256 千円	—
合 計	510,129 千円	14,164 人

・介護給付費内訳

区 分	給付額	平均受給者数
居宅介護（予防）サービス	1,332,432 千円	1,138 人
施設サービス	1,268,152 千円	380 人
審査支払手数料	3,075 千円	—
高額介護サービス	62,045 千円	—
高額医療合算介護サービス	10,200 千円	—
特定入所者介護サービス	150,000 千円	—
合 計	2,825,904 千円	1,518 人

・介護認定審査会関係

区 分	委員数	開催回数
介護認定審査会	24 人	96 回

・介護認定調査関係

区 分	主治医意見書作成件数	認定調査委託件数
介護認定調査	2,903 件	700 件

【地域支援事業】

地域支援事業は、要支援・要介護状態になる可能性のある高齢者を対象に要支援・要介護状態になることを防止するための事業や、要介護状態になった場合でもできるだけ住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう支援するための事業で、介護予防事業、包括的支援事業、任意事業の3つの柱からなっている。

○介護予防事業

介護予防事業は、自立している高齢者が、介護や支援を必要とする状態にならないために実施する事業で、65歳以上の高齢者を対象に、介護の必要はないが虚弱な高齢者を対象とした「特定高齢者施策」と全ての高齢者を対象にした「一般高齢者施策」に分けて実施する。

<特定高齢者施策>

特定高齢者事業費

- ・通所型介護予防事業：かるやか教室～一般高齢者事業と同時開催（年72回）
- ・訪問型介護予防事業
- ・介護予防特定高齢者施策評価事業

特定高齢者把握事業費：生活機能評価（年3,303件）

<一般高齢者施策>

一般高齢者事業費

- ・介護予防普及啓発事業：かるやか教室～特定高齢者事業と同時開催（年72回）
健康教室・健康相談
- ・地域介護予防活動支援事業：かるやか体操指導者養成教室（年6回）
かるやか卒後教室（教室ごとに月1回）
- ・介護予防一般高齢者施策評価事業

○包括的支援事業

地域の介護支援を行う中枢機関として市内に3つの生活圏域を設け、各圏域に地域包括支援センターを設置している。包括的支援事業は、地域包括支援センターが

実施する事業で社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーを配置し、3職種が連携して、次の事業を行う。

- ・介護予防マネジメント事業
新予防給付と介護予防事業のマネジメントを一体的に実施し、要介護状態となることへの予防と要介護状態への悪化の予防を図る。
- ・総合相談・支援事業
高齢者の各種相談を幅広く受け、制度の垣根にとられない横断的・多目的支援を行う。
- ・権利擁護事業
高齢者に対する虐待の防止や早期発見のための事業や、権利擁護のための事業を行う。
- ・包括的・継続的マネジメント事業
地域のケアマネジャーへの個別指導、困難事例等への助言等、ケアマネジャーへの支援を行う。

○任意事業

任意事業は、国が定めた事業以外の事業で、次の事業を行う。

- ・高齢者等介護用品給付事業
市民税非課税世帯で、要介護4以上で在宅生活をしている高齢者に対し、介護用品の購入に要する経費を給付し経済的負担の軽減を図る。
- ・家族介護慰労事業
市民税非課税世帯で、要介護4以上の在宅高齢者を介護し、1年間介護サービスを利用しなかった家族に対し、慰労金を支給し、経済的負担の軽減を図る。
- ・住宅改修支援事業
介護保険法施行規則に基づき、居宅介護住宅改修費及び介護予防住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成する介護支援専門員等に対する手数料。
- ・高齢者見守り支援事業
認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、誰でもが暮らしやすい地域を作るボランティアを養成する。
- ・成年後見制度利用支援事業
成年後見制度の周知を図るほか、親族がいない方などには市長が成年後見制度の申し立てを行い、判断能力が不十分な高齢者の権利・利益を保護する。

カルルス温泉スキー場事業特別会計

観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化を図る。

○リフト3基

(第1ペアリフト 650m・第2ペアリフト 852m・第3ペアリフト 537m)

○7コース 全コース延距離 5,150m

○リフト利用見込人員 296,000人

○修学旅行受入見込人員 20校 8,200人

○行事 カルルス温泉冬まつり(3月第1日曜日)

後期高齢者医療特別会計

(1) 対象者

- 75 歳以上の方
- 65 歳以上 75 歳未満で一定程度の障がいのある方

(2) 被保険者数（平成 21 年 4 月 1 日見込数）

- 北海道後期高齢者医療広域連合 635,309 人
- 登別市 6,710 人

(3) 保険料

- ・均等割額 43,143 円 ・所得割率 9.63 % ・賦課限度額 50 万円
- 北海道の平均保険料
 - ・ 65,114 円

(4) 被保険者の一部負担割合

- 1 割負担（現役並み所得者は 3 割負担）

(5) 制度の運営財源

- 公費 5 割（国 4：道 1：市 1）
- 支援金 4 割（国民健康保険、健康保険組合、共済組合など）
- 保険料 1 割（被保険者保険料）

(6) 運営主体

- 北海道後期高齢者医療広域連合（道内 180 市町村で構成）
 - ・被保険者の資格管理や保険証の発行
 - ・保険料の賦課決定など
- 登別市
 - ・保険料の徴収
 - ・医療給付に関する申請や各種届出の受付などの窓口業務
 - ・制度の周知に関する事務

水道事業会計

水道事業は、地方公営企業法に基づき地方自治体が経営する企業（地方公営企業）であり、常に「企業の経済性」を発揮しながら、「公共の福祉を増進」するよう運営されなければならないことになっている。

また、事業に必要な経費は、水道料金収入で賄うという「独立採算性」を原則に経営している。

平成 21 年度予算では、昨年度に引き続き水道水の安定供給を図るため、主な事業として、老朽管の更新及び公道内未布設箇所の新設と道路改良事業に併せ、移設・新設などの事業費を計上した。

主な事業内容

区 分	事 業 実 施 内 容	
	口 径 (mm)	事 業 内 容
配水管改良事業	φ 50～φ 100	1,550m
配水管移設事業	φ 100	100m
配水管布設事業	φ 50～φ 250	1,630m
水道メーター購入（検満メーター）	φ 13～φ 50	3,122 個
水道メーター購入（新設、修理、破損）	φ 13～φ 50	320 個
水道メーター取替（検満メーター）	φ 13～φ 50	3,122 個